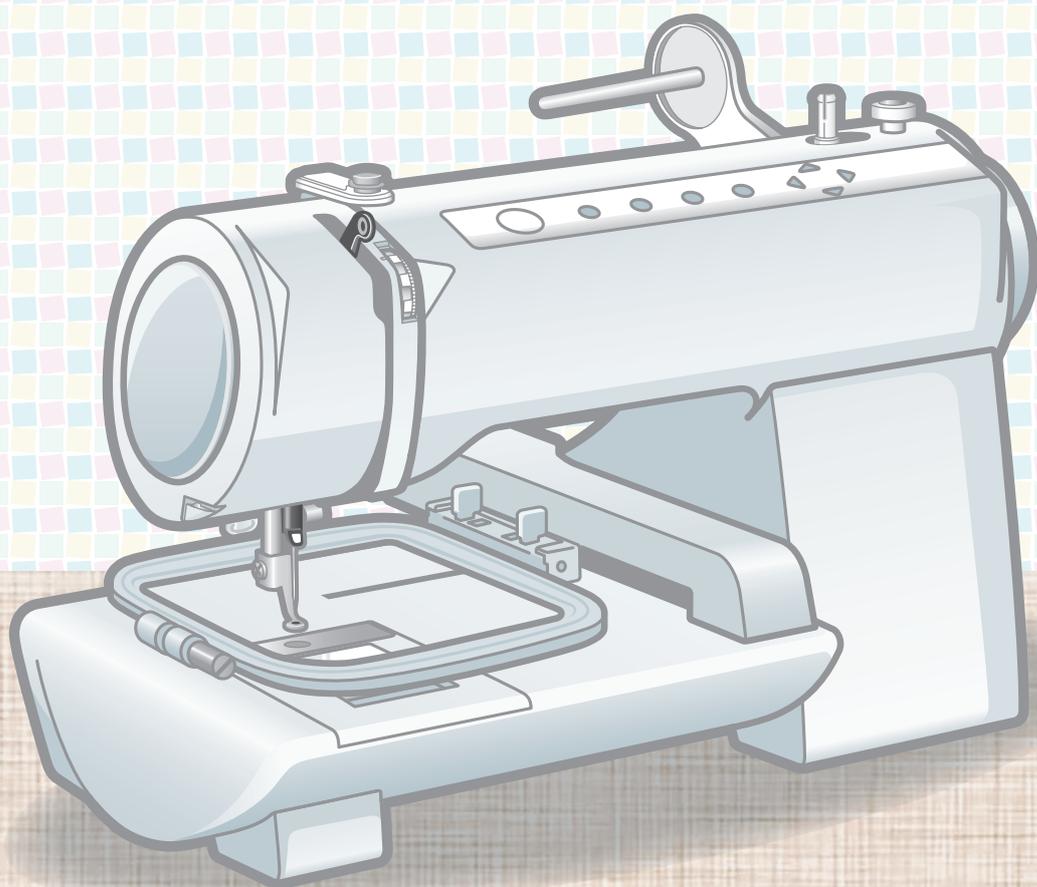


取扱説明書



JANOME

安全上のご注意

- ◆ ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆ お読みになったあとは、お使いになる人がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆ このミシンは、日本国内向け家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

危害・損害の程度を表わす表示	 警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	 注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
----------------	---	---

本文中の図記号の意味		▲記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。図の中には具体的な注意内容を表示しています。(左図の場合は一般的な注意)
		○記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。図の中には具体的な禁止内容を表示しています。(左図の場合は分解禁止)
		●記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。図の中には具体的な指示内容を表示しています。(左図の場合は一般的な強制)

	警告 感電・火災の原因となります。
	ストープ、アイロンの近くなど温度の高いところでは使用しないでください。 ミシンの使用温度は5℃～35℃です。
	スプレー製品などを使用した部屋や、引火しやすい物の近くでは使用しないでください。
	以下の行為は行わないでください。 <ul style="list-style-type: none"> • 電源コードを傷つける • 電源コードを加工する • 電源コードをはさみ込む • 電源コードをたばねる • 電源コードを引っ張る • 電源コードを無理に曲げたり、ねじる • 電源コードに重い物をのせる • 電源コードを高温部に近づける 電源コードのコードおよびプラグが破損した場合は、使用しないでください。
	一般家庭用、交流電源 100 V でご使用ください。
	電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
	以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ミシンを使用したあと ・ ミシン使用中に停電したとき

	注意 感電・火災・けがの原因となります。
	曲がった針や先のつぶれた針は、ご使用にならないでください。
	ミシンの通風口はふさがらないでください。
	このミシンを使用するときは、付属の専用電源コードを使用してください。 付属の専用電源コードは、このミシン以外の電気製品には使用しないでください。
	プラグ受けに、糸くずやほこりがたまらないようにしてください。
	針は、確実に固定してください。
	電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜いてください。
	以下のことを行うときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 <ul style="list-style-type: none"> • ミシンのお手入れを行うとき • 針を交換するとき
	ミシンに以下の異常があるときは速やかに使用を停止し、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。 <ul style="list-style-type: none"> • 水にぬれたとき • 落下などにより破損したとき • 異常な臭い・音がするとき • 電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき
	ミシンが正常に作動しない場合、専用アプリケーション内「取扱説明書」のトラブルシューティング項目および、「Q&A」をごらんください。 問題が解決しないときは速やかに使用を停止し、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にご相談ください。

	注意 感電・火災・けがの原因となります。
	お子様のご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してください。
	分解はしないでください。
	針・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。
	めい途中に刺しゅう枠を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。

目次

基本パーツ

各部のなまえ	4
糸立て棒の付け方	4
標準付属品	5

刺しゅうの準備と操作方法

電源のつなぎ方	6
押さえ上げ	6
ミシンの初期化	7
操作ボタン	8
糸こまのセット	9

下糸の準備

ボビンの取り出し	9
下糸巻き	10
ボビンのセット	11

上糸の準備

上糸かけ	12
糸通し	13
下糸を引き出す	14
糸押さえに糸をかける	15
上糸調子の調整	15

刺しゅう枠の使い方

刺しゅう枠と芯地	16
テンプレートシートの使い方	17
刺しゅう枠に布を張る	18
刺しゅう枠をキャリッジに取り付ける	19
刺しゅう枠をキャリッジから取り外す	20

ミシンとスマートデバイスの接続方法

ミシンとお使いのスマートデバイスとの無線 LAN 接続	21
アクセスポイントモードの設定	22 ~ 23
クライアントモードの設定	24 ~ 25
ミシンとスマートデバイスを接続し、刺しゅう模様を送信する	26

刺しゅう模様のぬい方

基本的なぬい方	27 ~ 28
前回の続きからのぬい方 (リジューム機能)	29
アップリケ模様のぬい方	30
カットワーク模様のぬい方	31
ぬいぐるみの作り方	32

ミシンのお手入れ

針の取りかえ方	33
針の取りかえ方 (刺しゅうの途中)	34 ~ 35
布に適した針や糸を選ぶ目安	35
かま付近の掃除	36 ~ 37
糸道の掃除	37

ミシンの調子が悪いときの直し方

糸がからまったときの対処方法	38
トラブルシューティング	39 ~ 41
操作ボタンのランプ点灯状態	42

基本パーツ 各部のなまえ

- ① 電源ランプ
- ② スタート/ストップボタン
- ③ 無線 LAN ボタン
- ④ めい範囲確認ボタン
- ⑤ 針もどしボタン
- ⑥ 針進みボタン
- ⑦ ジョグボタン
- ⑧ 糸押さえ
- ⑨ 糸調子ダイヤル
- ⑩ 天びん
- ⑪ 上糸糸案内
- ⑫ 糸巻き糸案内
- ⑬ 糸立て棒
- ⑭ 糸巻き軸
- ⑮ ボビン押さえ
- ⑯ キャリッジ
- ⑰ 針止めねじ
- ⑱ 針棒糸案内
- ⑲ 針
ブルー針 (75/11 番)
- ⑳ 針板
- ㉑ 角板
- ㉒ 押さえ
- ㉓ 押さえ止めねじ
- ㉔ 糸通しレバー
- ㉕ はずみ車
- ㉖ 押さえ上げ
- ㉗ 電源スイッチ
- ㉘ プラグ受け
- ㉙ 通風口

注 商品改良のため、仕様や形状を予告なく変更する場合があります。

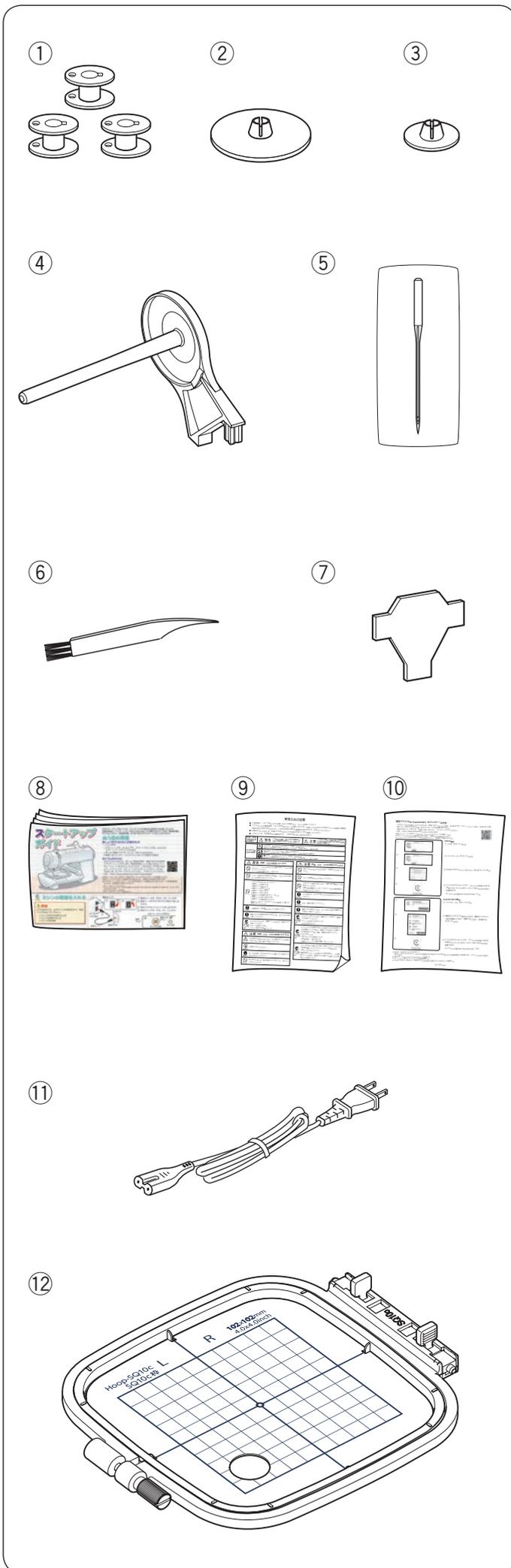
糸立て棒の付け方

図のように、穴に糸立て棒をしっかりと差し込みます。

- ① 糸立て棒
- ② 穴

標準付属品

番号	名称	品番
①	ボビン3個 ※ 内、1つはミシンに付いています。	102261000
②	糸こま押さえ (大)	822020503
③	糸こま押さえ (小)	822019509
④	糸立て棒	521804002
⑤	針2本: ブルー針 (75/11番) ※ 内、1本はミシンに付いています。	521805003
⑥	ミシンブラシ	802424004
⑦	ドライバー	653802002
⑧	スタートアップガイド	521803300
⑨	安全上の注意	521807005
⑩	専用アプリ「dot Customizer」の インストール方法	521809007
⑪	電源コード	806513003
⑫	刺しゅう枠 SQ10c (テンプレート付き)	521801010



刺しゅうの準備と操作方法

電源のつなぎ方

- 1 電源スイッチを「OFF」(切) にします。
 - ① 電源スイッチ
- 2 電源コードのプラグをプラグ受けに差し込みます。
 - ② プラグ
 - ③ プラグ受け
- 3 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「ON」(入) にします。
 - ④ 電源プラグ
 - ⑤ コンセント

警告

- 電源は、一般家庭用交流電源 100V でご使用ください。ミシンを使わないときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の原因となります。
- 電源プラグは定期的な乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。ほこりなどが付着していると湿気などにより絶縁不良となり火災の原因となります。

注意

- 使用中、天びん、はずみ車、針などの動いている部分には、手をふれないでください。
- 以下の作業を行う場合には、必ずミシンの電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- ミシンの針を交換するとき
 - ミシンのお手入れをするとき

注記

必ずミシンに付属の電源コードをご使用ください。電源スイッチの「ON」(入)、「OFF」(切)の操作は5秒以上間かくをあけてください。

押さえ上げ

押さえ上げで、押さえをあげたり、さげたりします。

- ① 押さえ上げ (押さえをあげた位置)
- ② 押さえ
- ③ 押さをさげた位置

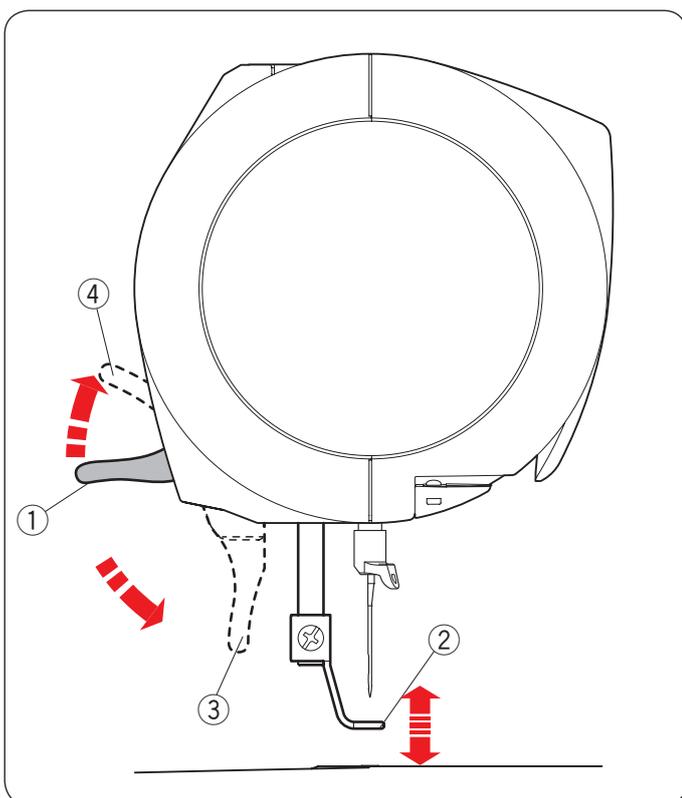
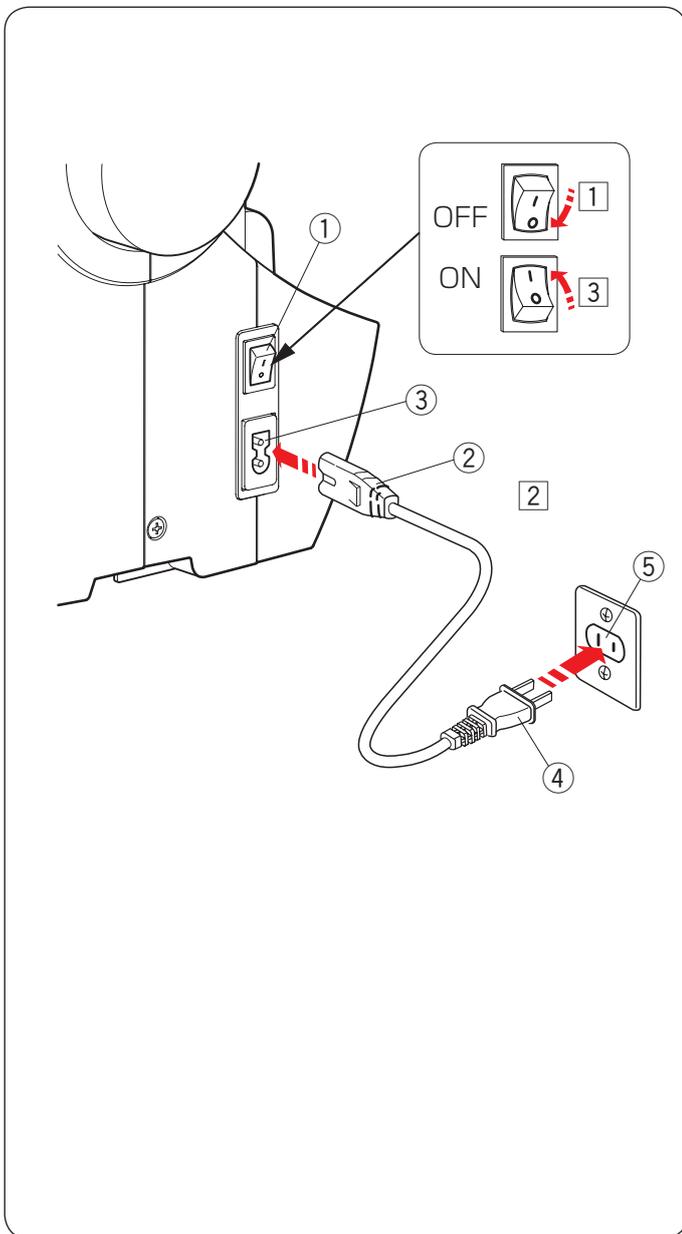
押さえ上げをさらにあげると、通常よりも 5 mm 高く押さえをあげることができます。

刺しゅう枠をキャリッジに取り付けるときなどにお使いください。

- ④ 押さをさらにあげた位置

注意

- 押さをさらにあげた位置 ④ にあるときは、はずみ車を回さないでください。
- また、針がさがっているときに、押さをさらにあげた位置 ④ にしないでください。故障の原因となります。



ミシンの初期化

電源スイッチを「ON」(入)にしたときは、必ず初期化してください。

① 電源スイッチを「ON」(入)にします。

① 電源スイッチ

② 以下のことを確認します。

- 押さえ上げがあがっている
- 針があがっている
- 糸巻き軸が左側にある

初期化できる状態になると、スタート/ストップボタンがゆっくりオレンジ色に点滅します。

- ② 押さえ上げ
- ③ 針
- ④ 糸巻き軸
- ⑤ スタート/ストップボタン

③ スタート/ストップボタンを押して、ミシンを初期化します。

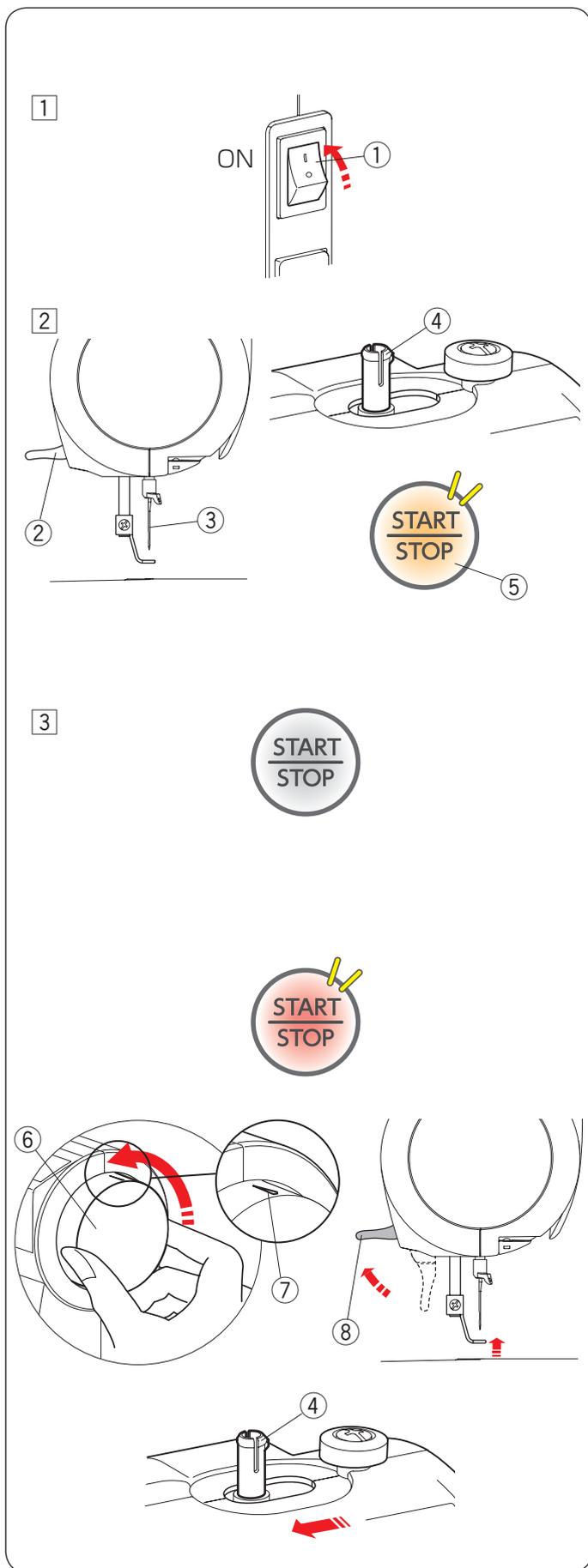
初期化時に、動作確認のためキャリッジが動きます。動作確認中は周りに物を置かず、キャリッジに手を触れないでください。

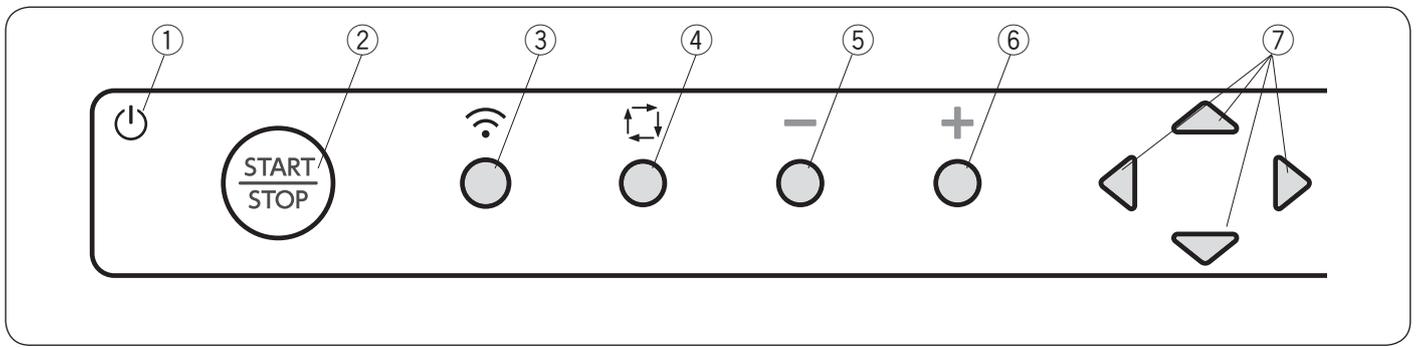
スタート/ストップボタンが消灯すると、初期化は完了です。

※ スタート/ストップボタンがゆっくり赤色点滅しているときは、ミシンの初期化ができません。以下の手順で、スタート/ストップボタンがゆっくりオレンジ色に点滅している状態にします。

- 押さえ上げをあげる
- はずみ車の印が上にくるように手前に回す
- 糸巻き軸を左側に押す

- ⑧ 押さえ上げ
- ⑥ はずみ車
- ⑦ はずみ車の印
- ④ 糸巻き軸





操作ボタン

① 電源ランプ

電源を入れると点灯します。
電源を切ると消灯します。

② スタート/ストップボタン

ミシンの電源スイッチを入れたあと、スタート/ストップボタンを押して、ミシンを初期化します。
(7 ページ参照)

ボタンを押してミシンを動かしたり、止めたりします。
スタート/ストップボタンを押したときに、タブレット/スマートフォンに指示が表示されたら、その指示に従ってください。

③ 無線LANボタン

無線 LAN の接続方法を切りかえます。
(21、24～25 ページ参照)

④ めい範囲確認ボタン

ミシンに送信した刺しゅう模様の大さを事前に確認できます。(27 ページ参照)
また、刺しゅうの途中で針を交換する場合、刺しゅう枠を右奥に移動できます。(34 ページ参照)

⑤ 針もどしボタン

ぬっている箇所から後進方向に刺しゅう枠を移動できます。
1 度押すと 1 針分刺しゅう枠が移動し、針がもどります。
ボタンを押し続けると徐々に早くなり、10、100、500 針ずつ刺しゅう枠を移動できます。



刺しゅう中に針もどしボタンで刺しゅう枠を動かしすぎると、糸同士がからまる場合があります。からまらないようにするため、動かす前に渡り糸を切ってください。(28 ページ参照)

⑥ 針進みボタン

ぬっている箇所から前進方向に刺しゅう枠を移動できます。
1 度押すと 1 針分刺しゅう枠が移動し、針が進みます。
ボタンを押し続けると徐々に早くなり、10、100、500 針ずつ刺しゅう枠を移動できます。



刺しゅう中に針進みボタンで刺しゅう枠を動かしすぎると、糸同士がからまる場合があります。からまらないようにするため、動かす前に渡り糸を切ってください。(28 ページ参照)

⑦ ジョグボタン

刺しゅうの位置を調整できます。(27 ページ参照)

刺しゅう模様を受信する前：

刺しゅう可能範囲を確認できます。ジョグボタンを押して刺しゅう枠を前後左右方向に動かし、確認します。

刺しゅう模様を受信したあと：

刺しゅうの位置を決定します。刺しゅう枠を動かして刺しゅうの位置を前後左右に移動し、決定します。

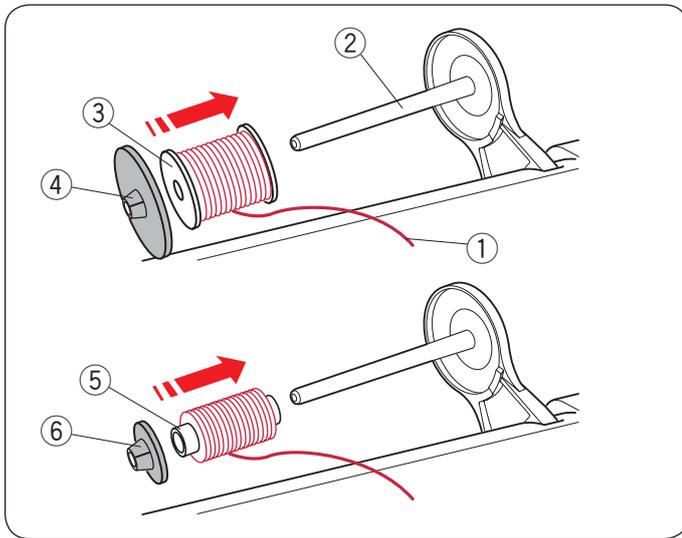
糸こまのセット

糸の端が糸こまの下から手前が出るように糸こまを向けて糸立て棒に入れ、糸こま押さえを押し付けて糸こまを押さえます。

- ① 糸の端
- ② 糸立て棒

※ 普通の糸こまには糸こま押さえ（大）を、小さい糸こまには糸こま押さえ（小）を使います。

- ③ 普通の糸こま
- ④ 糸こま押さえ（大）
- ⑤ 小さい糸こま
- ⑥ 糸こま押さえ（小）

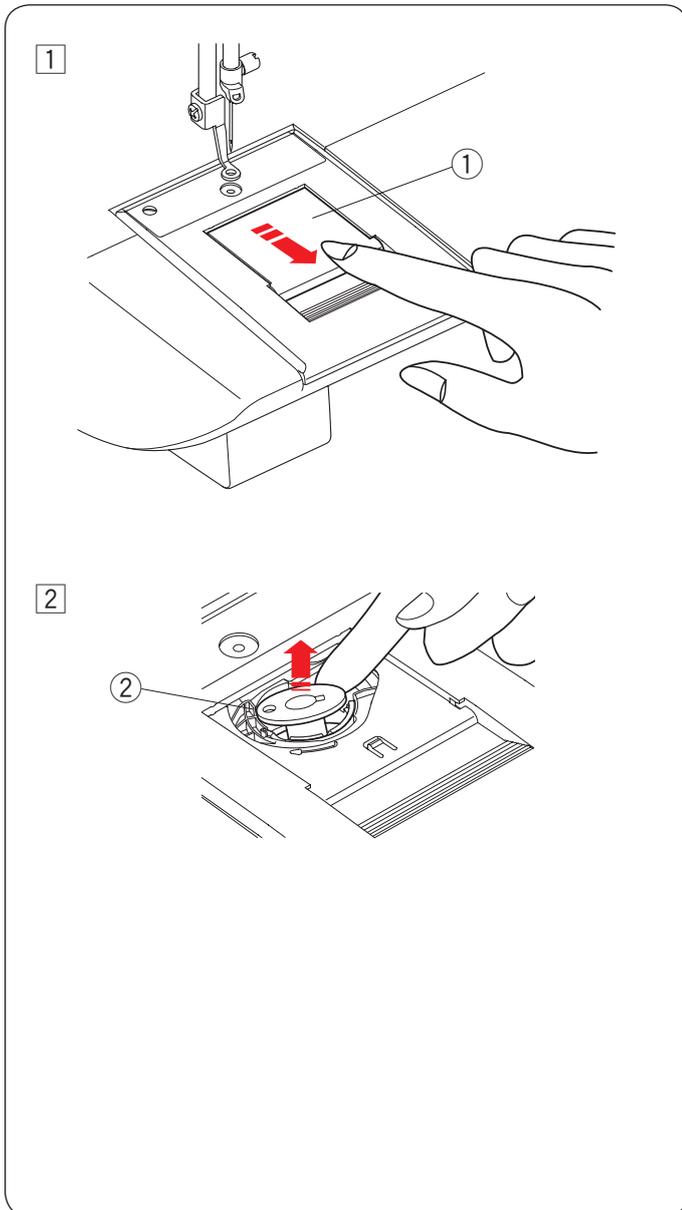


下糸の準備

ボビンの取り出し

① 角板を手前にスライドして取り外します。

- ① 角板

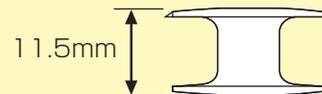


② ボビンを取り出します。

- ② ボビン

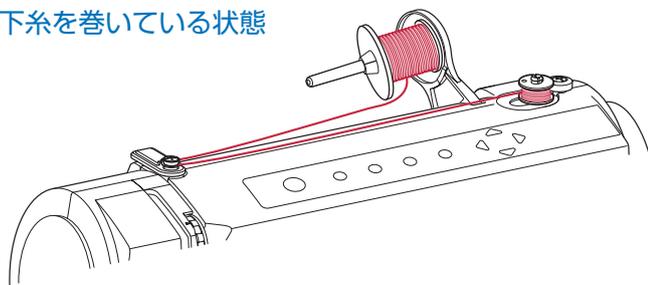
お願い

ボビンは当社専用のプラスチックボビンをおすすめします。
(ご購入はお買い上げの販売店へご相談ください。)

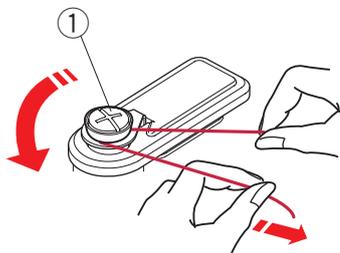


金属ボビンなどを使用すると、ぬい不良の原因となります。

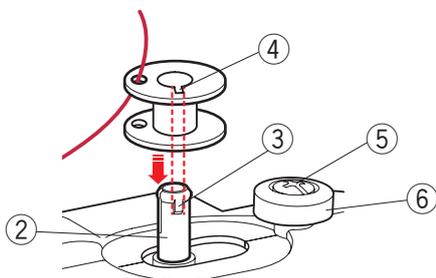
下糸を巻いている状態



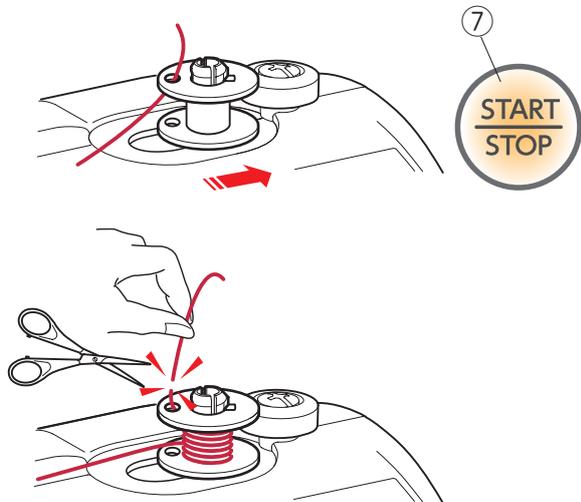
①



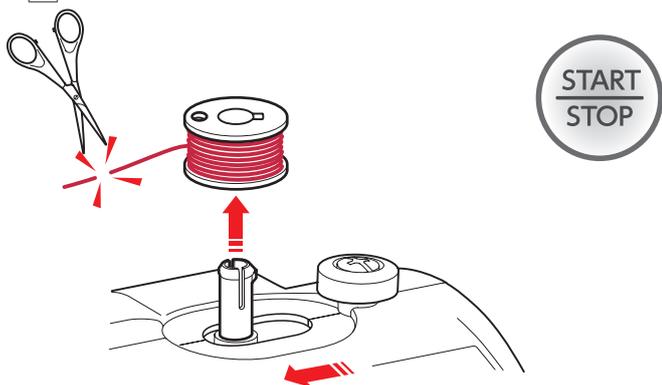
②



③



④



下糸巻き

注記

下糸にはフジックスシャッフスパン #90 のミシン糸（白）を使用してください。（ご購入はお買い上げの販売店または手芸店へご相談ください。）
刺しゅう専用の下糸は使用しないでください。

※ スタート/ストップボタンを押して、ミシンの初期化をします。ミシンの初期化をしていないと、下糸巻きはできません。（7ページ参照）

① 糸こま側の糸を軽く押さえ、矢印方向に引いて糸巻き糸案内に糸をかけます。

① 糸巻き糸案内

② ボビンの穴に内側から糸を通します。糸巻き軸の突起とボビンのみぞを合わせ、糸巻き軸に差し込みます。

② 糸巻き軸
③ 突起
④ みぞ
⑤ ねじ
⑥ ボビン押さえ

注記

ボビン押さえのねじはさわらないでください。部品が外れたり、適正な巻き量が狂うことがあります。

③ 糸巻き軸を右側に押し付け、糸の端をつまんだままスタート/ストップボタンを押して、下糸を巻きはじめます。

糸をボビンに3秒間ほど巻きつけたら、スタート/ストップボタンを再び押してミシンを止め、穴のすぐ近くでつまんでいる糸を切ります。

⑦ スタート/ストップボタン

④ 再びスタート/ストップボタンを押して下糸を巻きます。

下糸が巻き終わると、ボビンの回転が止まります。スタート/ストップボタンを押して、ミシンを止めたあと、糸巻き軸を左側へもどし、ボビンを糸巻き軸から外して糸を切ります。

注記

ミシンが動いているときに、糸巻き軸を動かさないでください。
下糸巻きは安全のために、ミシンがスタートしてから約90秒で自動停止します。

ボビンのセット

注 刺しゅうをはじめる前に、ボビンに下糸が十分巻かれていることを確認してください。

① 押さえ上げをあげます。

① 押さえ上げ

② 糸の端を矢印方向に出し、ボビンを内がまに入れます。

② 糸の端

③ 内がま

※ 角板にボビンの糸の方向が表示されています。

④ 角板

③ ボビンが回転しないように、指で押さえます。糸の端を引きながら、手前のみぞにかけます。

⑤ 手前のみぞ

※ 糸はフックと板ばね（黒い板）のあいだを通ります。

⑥ フック

⑦ 板ばね（黒い板）

④ 糸を左側のみぞにかけるように向こう側に出します。

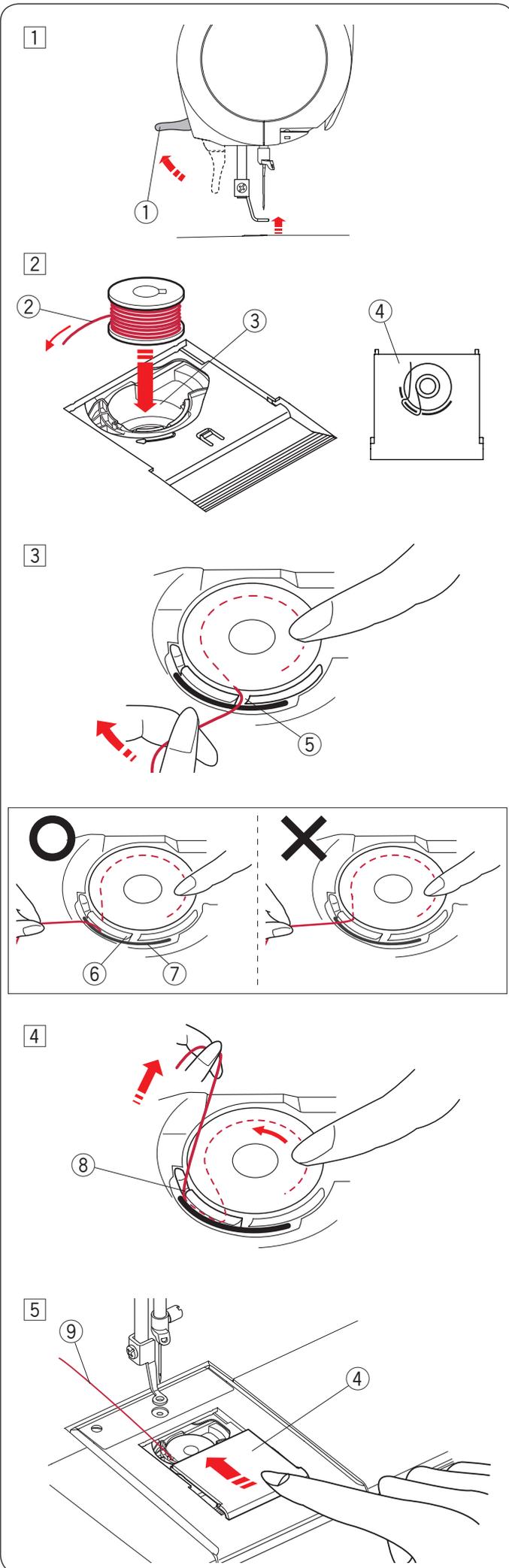
⑧ 左側のみぞ

※ 糸を引き出したとき、ボビンは反時計方向に回転します。時計方向に回転した場合は、ボビンを上下逆に入れかえて、手順②からやり直してください。

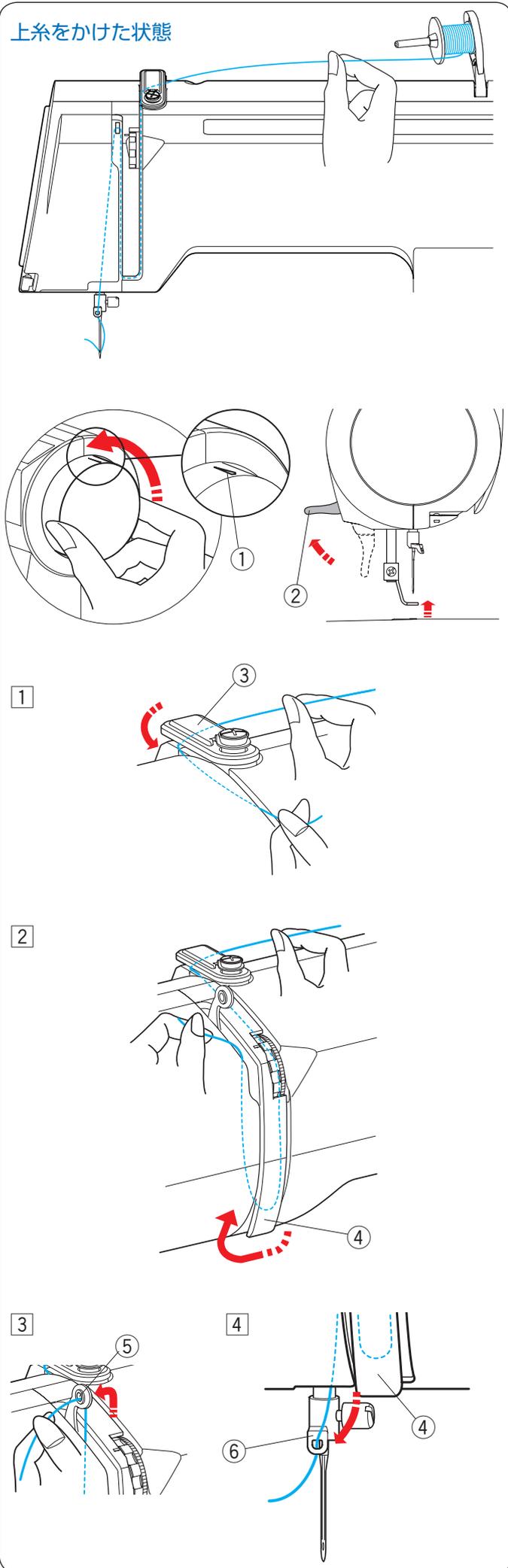
⑤ 糸を10 cmほど、うしろ側に引き出します。角板を取り付けます。

⑨ 糸

④ 角板



上糸をかけた状態



上糸の準備

上糸かけ

※ 上糸かけは、糸を各部に確実にかけるために、右手で糸こま側の糸を押さえながら、左手で強めに引いてかけてください。

【準備】

はずみ車の印が上にくるように手前に回し、針を高い位置にあげます。
押さえ上げをあげます。

- ① はずみ車の印
- ② 押さえ上げ

注記

上糸をかけるときは、必ず押さえ上げをあげてください。
糸が切れたり、糸調子が合わなくなったり、刺しゅう模様がくずれたりする原因となります。

【上糸かけ】

① 糸こま側の糸を持ちながら、上糸糸案内の下にそわせて糸を通し、みぞにそって手前に引き出します。

- ③ 上糸糸案内

② 糸案内板の下にまわし、左上に引きあげます。

- ④ 糸案内板

※ 押さえ上げがあがっていないと、正しく糸がかけられません。

③ 天びんの穴に右から左へ通します。

- ⑤ 天びんの穴

④ 糸案内板の左側のみぞにそっておろします。

図のように針棒糸案内の穴に、手前から糸を通します。

- ④ 糸案内板
- ⑥ 針棒糸案内

※ 糸通しを使って針穴に糸を通します。
(13 ページ参照)

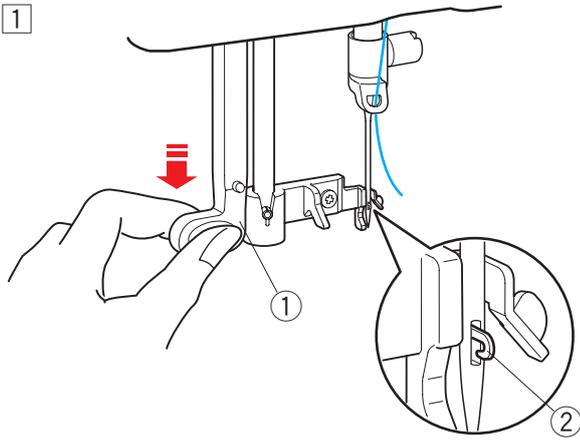
糸通し

① 糸通しレバーを止まるまでさげます。

① 糸通しレバー

※ 糸通しレバーが下までさがると、フックが針穴に入ります。

② フック



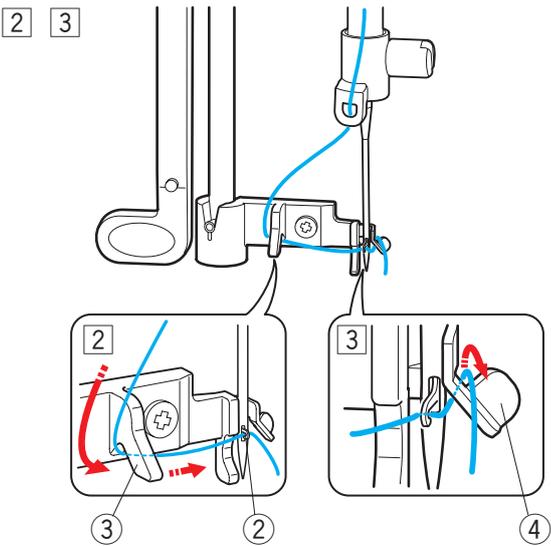
② 糸を糸案内の左側からフックの下を通します。

② フック

③ 糸案内

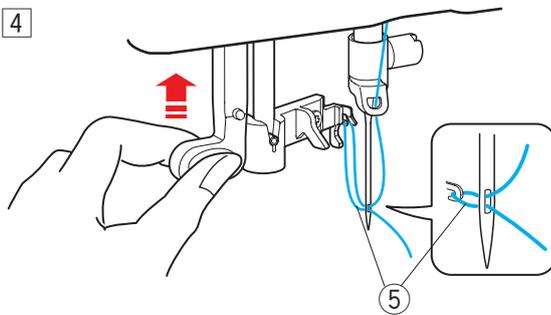
③ 糸保持板の下から糸をかけ、手前にたらししておきます。

④ 糸保持板

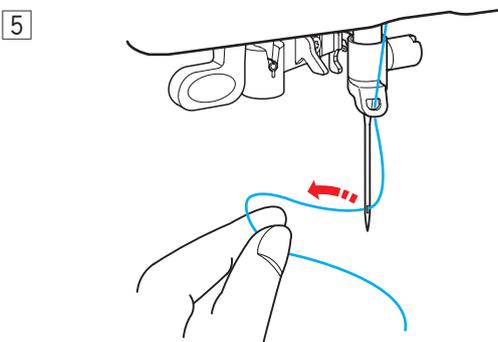


④ 糸通しレバーを静かに上にもどすと、糸の輪が引きあげられます。

⑤ 糸の輪

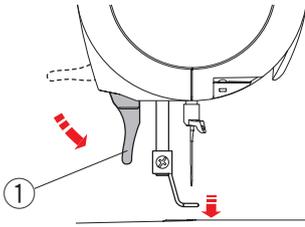


⑤ 糸の輪をフックから外し、糸の端を針穴から向こう側に引き出します。



下糸を引き出す

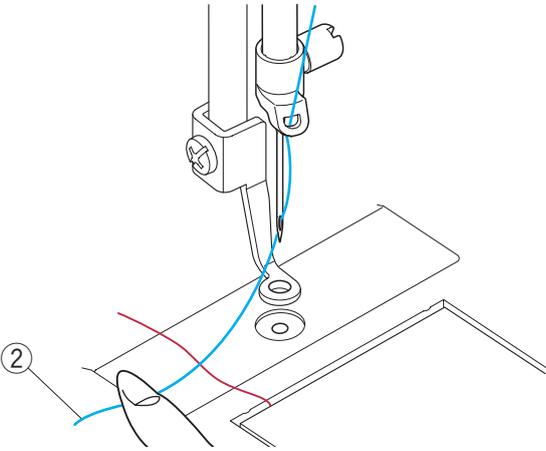
①



- ① 押さえ上げをさげます。
上糸を左手で軽く押さえます。

- ① 押さえ上げ
② 上糸

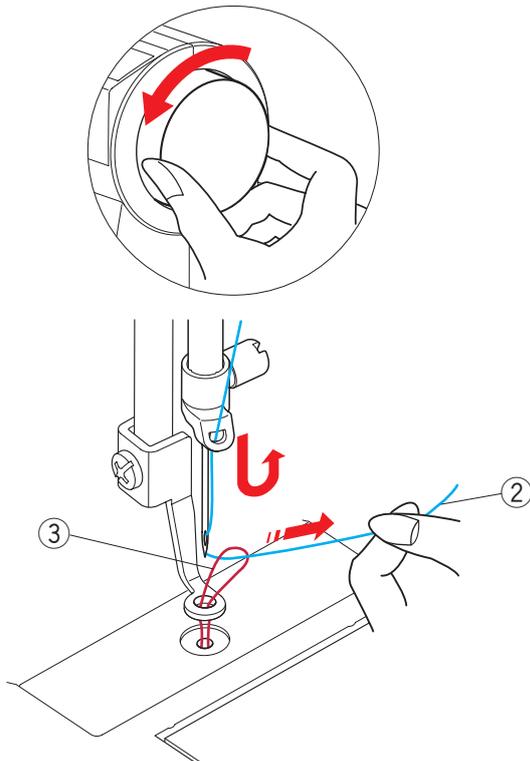
②



- ② はずみ車を、手前に一回転させます。
上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出されます。

- ② 上糸
③ 下糸

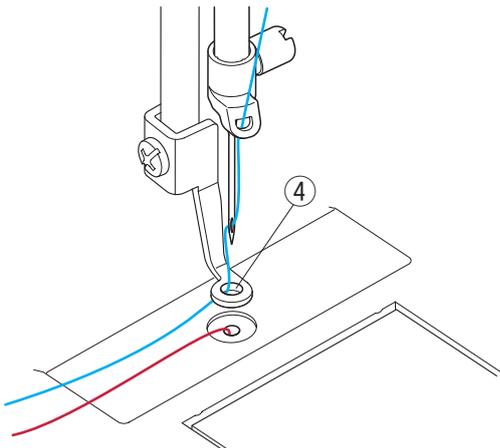
③



- ③ 下糸を押さえの穴から、下に引き出します。
上糸を押さえの穴に通します。

- ④ 押さえの穴

④



糸押さえに糸をかける

上糸の端をぬいこまないように、上糸を糸押さえに掛けてください。

- ① 上糸の端を持ち、面板の角にそわせて上糸を下におろします。
① 面板の角
② 上糸
- ② 上糸を糸押さえのみぞに滑り込ませます。
③ みぞ
上糸の端を糸押さえに手前から向こう側へ2～3cm出してかけます。

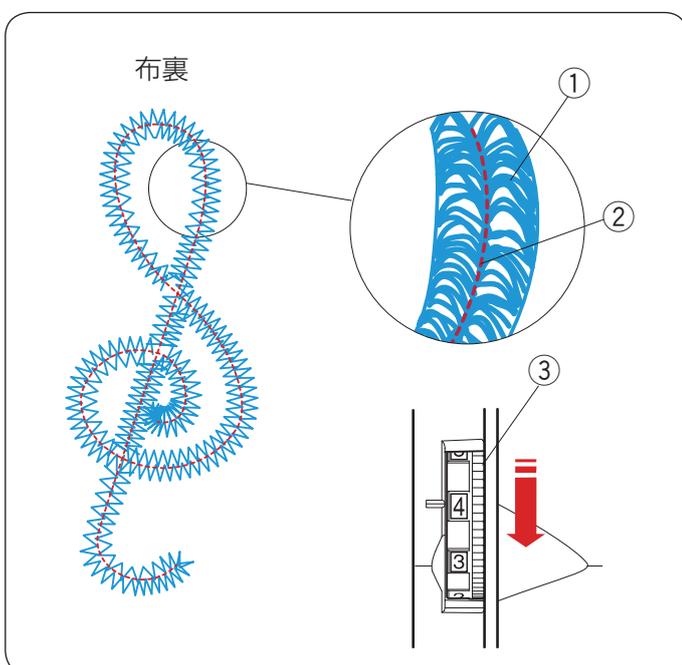
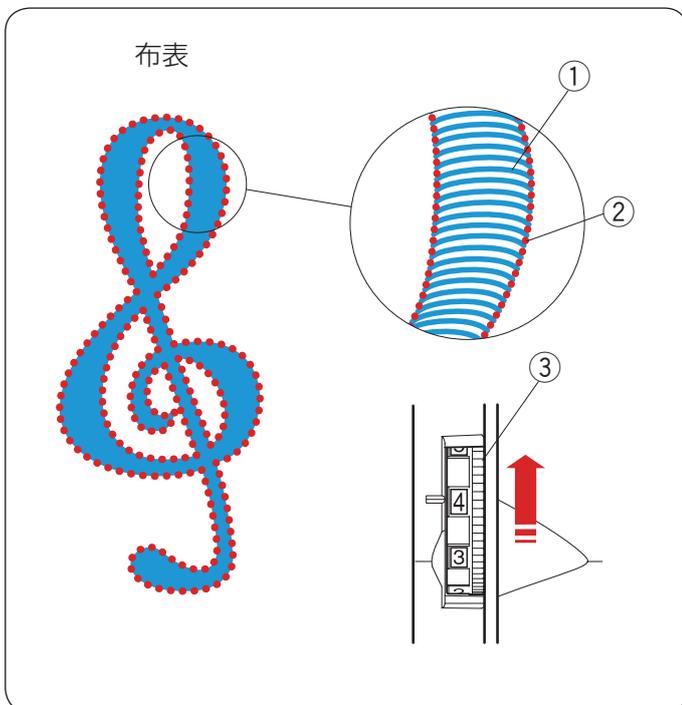
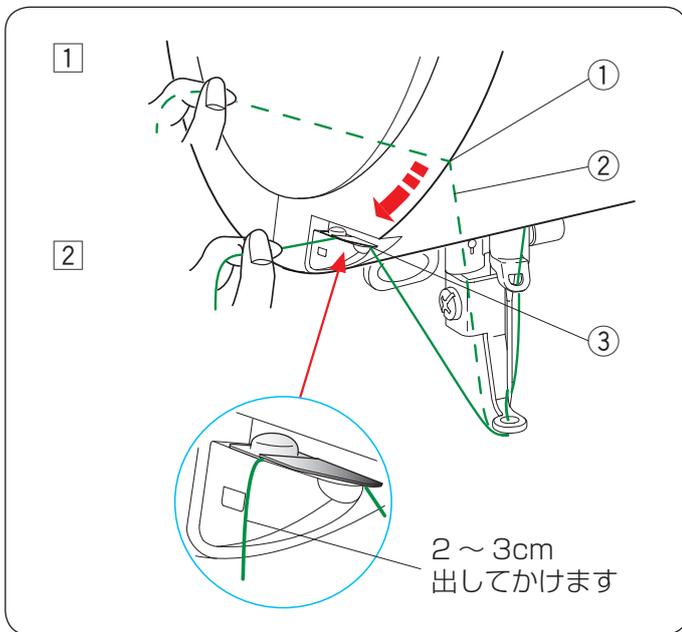
上糸調子の調整

上糸調子が強すぎると、下糸が布の表側に引き出されます。糸調子ダイヤルが小さい数字になるように調整してください。

- ① 上糸（青色）
- ② 下糸（赤色）
- ③ 糸調子ダイヤル

上糸調子が弱すぎると、上糸が布の裏側に引き出されます。上糸が布の表側でたるんだり、輪になる場合もあります。糸調子ダイヤルが大きい数字になるように調整してください。

- ① 上糸（青色）
- ② 下糸（赤色）
- ③ 糸調子ダイヤル



刺しゅう枠の使い方

刺しゅう枠と芯地

刺しゅう枠 SQ10c

刺しゅう範囲の一辺が 102 mm の四角い刺しゅう枠です。

布は刺しゅう枠より大きいものを用意します。

芯地*

刺しゅう部分の布の裏側に芯地を貼るときれいに仕上がります。

① 芯地

※ 薄い布や化繊布は、必ず芯地を貼ります。

芯地には、アイロンで接着するタイプと接着しないタイプがあります。接着しないタイプの芯地は、アイロンをかけられない布やアイロンをかけにくい部分に刺しゅうするとき 사용합니다。

【接着するタイプの芯地】

布の裏側と、芯地の光沢のある面（のり付きの面）を向かい合わせにして置き、角を折り、押し当てるようにしてアイロンをかけます。

② 布の裏側

※ アイロンをかけるときは、当て布をします。

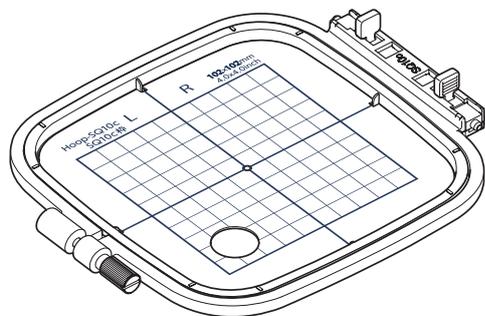
③ 当て布

※ アイロンの温度は、使用する芯地の推しよう温度にしたがってください。

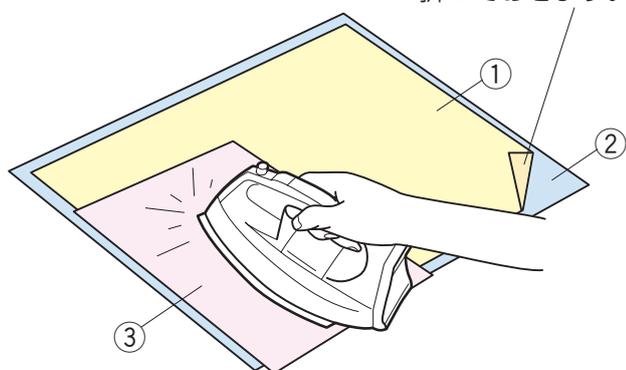
※ 芯地の角を折っておくと、刺しゅうが終わったあとに、芯地をはがしやすくなります。

* 芯地はこのミシンには付属していません。ご購入は手芸店へご相談ください。

※ ジャージやスムーズニットのような伸縮性のある布の場合は、芯地を貼るか、補助用布を使用します。詳しくは、オンラインヘルプの『Q&A』をごらんください。



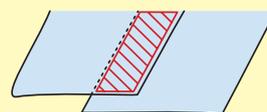
芯地の角を折っておきます。



使用する布と同じ布で試しぬいをして、正しくぬえることを確認してください。

刺しゅう模様同士が重なる所や、厚い布、布が折り重なる部分、布の合わせ目などに刺しゅうをするときは、特に注意をして試しぬいを行ってください。

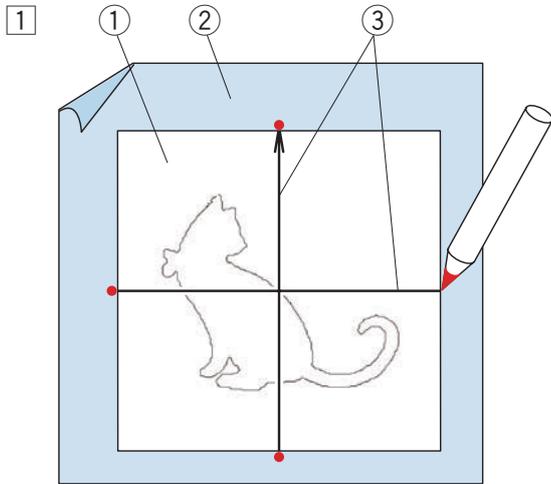
注意



テンプレートシートの使い方

テンプレートシートは刺しゅう模様のぬい位置を決めるときに使用します。

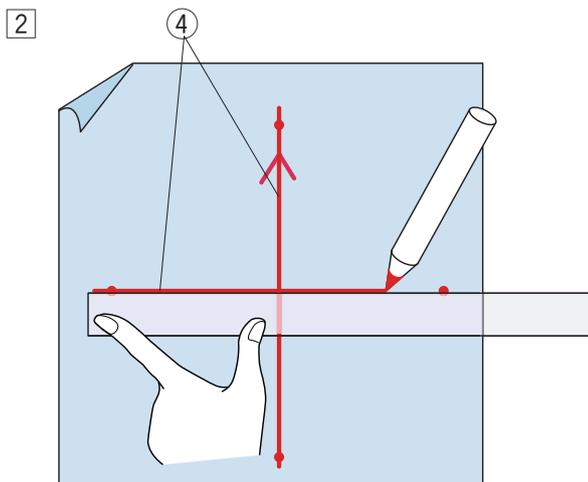
オンラインヘルプの「テンプレートシート」から、ぬいたい模様のテンプレートシートを選択し、印刷します。印刷設定でページサイズ処理を「実際のサイズ」に設定します。(OSによって異なります。)



① テンプレートシートを模様の大きさに合わせて切りま
す。布の表側にテンプレートシートを置き、刺しゅう
する位置を決めます。テンプレートシートの基準線の
延長上4カ所に、印を付けます。

- ① テンプレートシート
- ② 布の表側
- ③ テンプレートシートの基準線

※ 水で濡らすと消えるペンを使うと、跡が残りません。

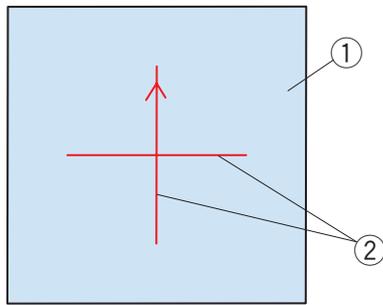


② 印を結び、布に十字マークを引き、模様の上下を示す
矢印を書きます。

- ④ 十字マーク

刺しゅう枠に布を張る

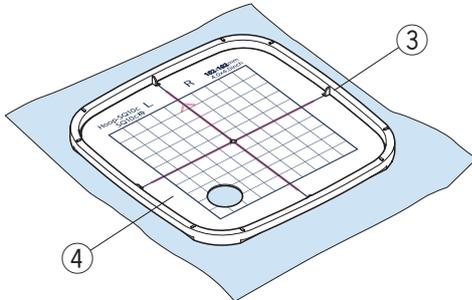
1



- 1 模様 of 刺しゅう位置を決めるために、布に十字マークを付けます。
布は、刺しゅう枠より大きいものを用意します。

- ① 布
- ② 十字マーク

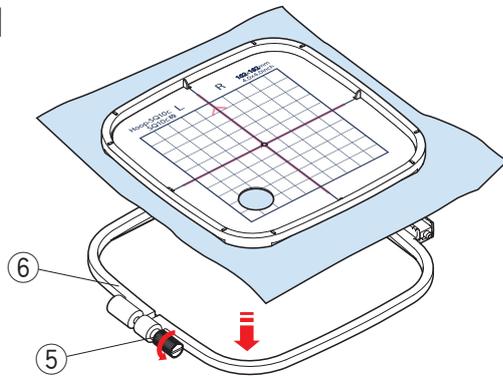
2



- 2 布の上に内枠を置き、その中にテンプレートをに入れて、テンプレートの基準線と布の十字マークを合わせます。

- ③ 内枠
- ④ テンプレート

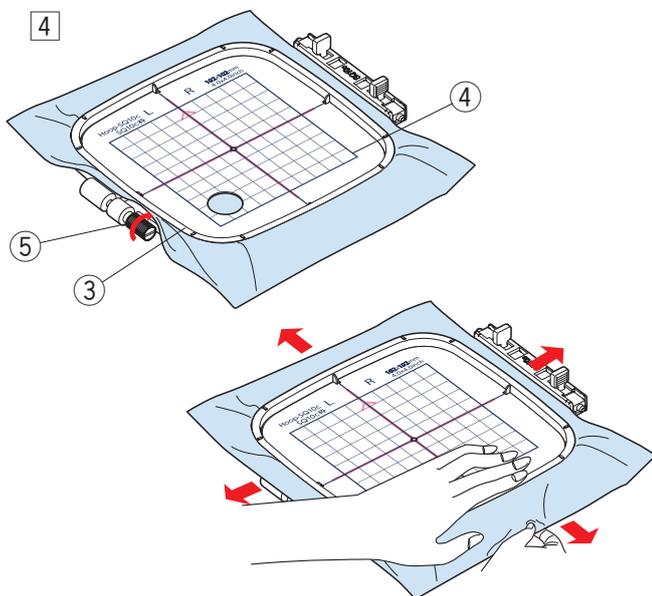
3



- 3 外枠の調節ねじをゆるめます。
布の十字マークとテンプレートの基準線がズレないように外枠にセットします。

- ⑤ 調節ねじ
- ⑥ 外枠

4

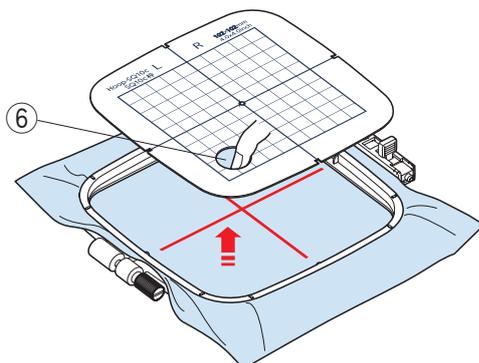


- 4 調節ねじをしめて、布を張ります。
布をピンと張るために調節ねじをしめた状態で一度内枠を外し、テンプレートの基準線と布の十字マークを合わせながらセットし直します。
布地がたるまないように布地の4辺を引っ張り、ピンと張ります。

※ 布地を軽くたたくと、太鼓のような音がするくらいピンと張ります。ただし、伸縮性のある布を使用する場合、布地を引っ張りすぎないように張ります。

- ③ 内枠
- ④ テンプレート
- ⑤ 調節ねじ

5



- 5 テンプレート取り出し穴に指を入れ、テンプレートを外します。

- ⑥ テンプレート取り出し穴

刺しゅう枠をキャリッジに取り付ける

① はずみ車の印が上にくるように、はずみ車を手前に回します。
 押さえ上げを、さらにあげた位置にします。

- ① はずみ車の印
- ② 押さえ上げ

② 準備した刺しゅう枠を押さえの下に置きます。

- ③ レバー
- ④ ピン
- ⑤ キャリッジ
- ⑥ キャリッジの穴

③ レバーを矢印の方向につまみます。

- ③ レバー

④ レバーをつまんだまま、刺しゅう枠をキャリッジに取り付けます。

⑤ レバーをゆるめ、ピンをキャリッジの穴にしっかりと入れ、刺しゅう枠を固定します。
 刺しゅう枠のピンがキャリッジの穴から出ていることを確認します。

- ④ ピン

注意

- 余分な布をキャリッジとミシン本体のあいだに、はさみ込まないように注意してください。破損・故障の原因となります。

- ① キャリッジとミシン本体のあいだ

- キャリッジを手で無理に動かしたり、キャリッジが動いているとき、手で止めたりしないでください。破損・故障の原因となります。

刺しゅう枠をキャリッジから取り外す

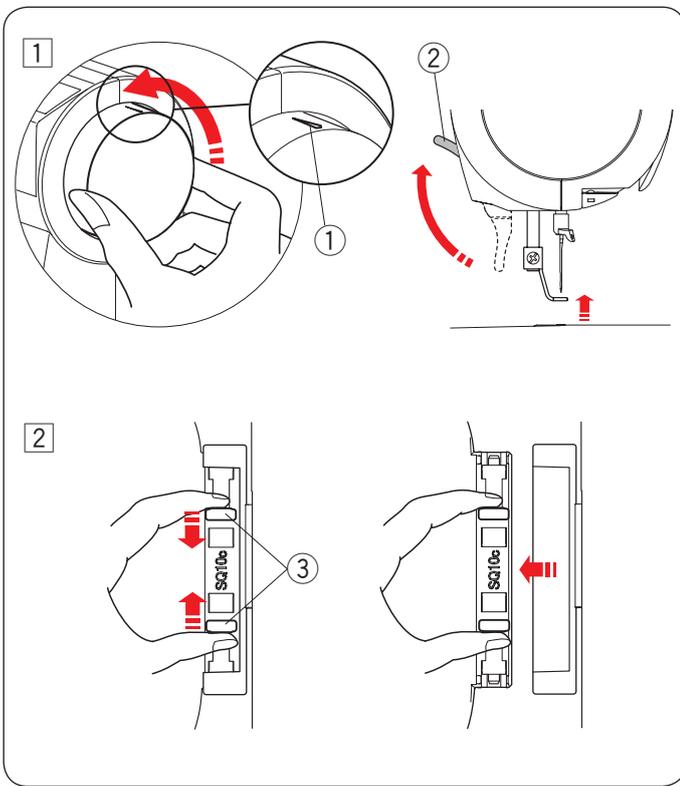
① はずみ車の印が上にくるように、はずみ車を手前に回します。

押さえ上げを、さらにあげた位置にします。

- ① はずみ車の印
- ② 押さえ上げ

② レバーを矢印の方向につまみ、刺しゅう枠を外します。

- ③ レバー



ミシンとスマートデバイスの接続方法

ミシンとお使いのスマートデバイスとの無線 LAN 接続

お使いのタブレット (iOS、Android™ OS)、スマートフォン (iOS、Android OS) (以下、スマートデバイスと表記) とミシンの接続方法は、2 通りあります。

アクセスポイントモード



アクセスポイントモード：

スマートデバイスとミシンを直接接続します。無線 LAN ルーターを使わずに接続できます。ミシンの無線 LAN の初期設定は、アクセスポイントモードです。アクセスポイントモードでは、無線 LAN ランプはゆっくり点滅します。

注記

スマートデバイスをミシンと接続しているときは、メール / インターネットなどは使用できません。インターネットにつながるときは、ミシンとの接続を切ってください。

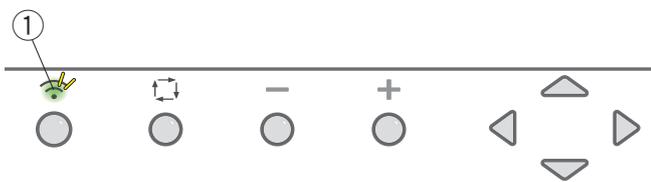
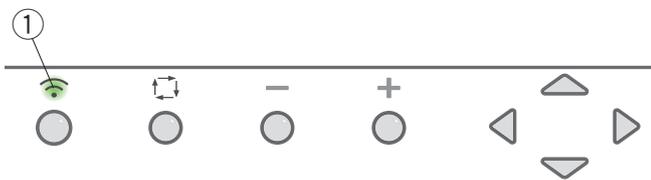
クライアントモード



クライアントモード：

スマートデバイスとミシンを無線 LAN ルーターを経由して接続します。メールやインターネットを使用しながら、ミシンと通信できます。クライアントモードでミシンと無線 LAN ルーターを接続すると、無線 LAN ランプは点灯します。

① 無線 LAN ランプ



※ 電源投入から通信できるようになるまで 1 分程度かかります。そのあいだ、無線 LAN ランプは早く点滅します。通信できるようになると、無線 LAN ランプはゆっくり点滅にかわります。ゆっくり点滅にかわったら、アクセスポイントモード、またはクライアントモードでスマートデバイスとミシンを接続します。

① 無線 LAN ランプ

・ iOS は、Apple Inc. の OS 名称です。
・ IOS は、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
・ Android は Google Inc. の商標です。

アクセスポイントモードの設定

iPad / iPhone :

※ 本書で説明している iOS のバージョンは「11.3」です。設定の項目名や、Wi-Fi への接続方法はバージョンによって異なることがあります。

※ ミシンの電源を入れ、スタート/ストップボタンを押して、ミシンの初期化をします。ミシンの初期化をしていないと、設定できません。(7ページ参照)

① スマートデバイスのホーム画面の「設定」をタップします。
「Wi-Fi」をタップします。
スライドキーをタップして、ON にします。

① 設定

② 「ネットワークを選択 ...」内から接続するミシン名 (MAC アドレス / 例:JANOME-12-34-57) をタップします。

注記

無線 LAN を接続するための MAC アドレスは、ミシン本体の背面のシールに表示されています。
② MAC アドレス

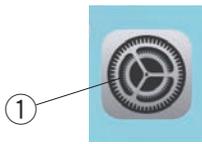
③ パスワードの入力画面が表示されたらパスワード「12345678」を入力し、「接続」をタップします。

④ Wi-Fi に接続するとチェックマークが入り、ステータスバーに Wi-Fi マークが表示されます。

③ Wi-Fi マーク

※ iPad, iPhone は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
※ 「Wi-Fi」は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。

①



②

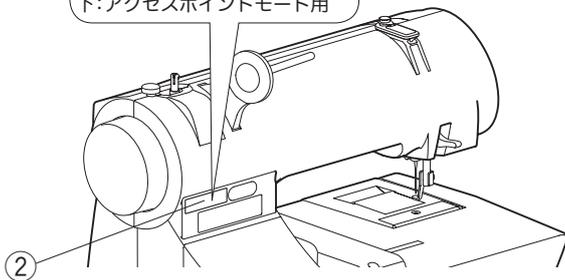


上:クライアントモード用

MAC:08EA40123456

MAC:08EA40123457

下:アクセスポイントモード用



③



④



Android OS タブレット / スマートフォン :

- ※ 設定の項目名や、Wi-Fi への接続方法はスマートデバイスによって異なります。
- ※ ミシンの電源を入れ、スタート/ストップボタンを押して、ミシンの初期化をします。ミシンの初期化をしていないと、設定できません。(7ページ参照)

- ① スマートデバイスのホーム画面の「設定」をタップし、「無線とネットワーク」項目の「Wi-Fi」をタップします。スライドキーをタップし、Wi-Fi を ON にします。
- ② 接続するミシン名 (MAC アドレス / 例 : JANOME-12-34-57) をタップします。

注記

無線 LAN を接続するための MAC アドレスは、ミシン本体の背面のシールに表示されています。
① MAC アドレス

- ③ パスワードの入力画面が表示されたら**パスワード「12345678」**を入力し、「接続」をタップします。
- ④ Wi-Fi に接続すると、ステータスバーに Wi-Fi マークが表示されます。



クライアントモードの設定

クライアントモードで接続するには、無線 LAN ルーター (IEEE802.11b/g/n) が必要です。
無線 LAN ルーターをクライアントモードでミシンと接続すると、無線 LAN ランプは点灯します。

① 無線 LAN ランプ

注記

無線 LAN ルーターは、電子レンジ、Bluetooth 機器、コードレス電話などの家電製品を使用すると、電波の影響を受けることがあります。できるだけ離してご使用ください。

プッシュボタン方式

プッシュボタンを押すと、SSID やパスワードを入力せずにミシンを無線 LAN に接続できます。

プッシュボタン方式を使用するには、無線 LAN ルーターがこの方式に対応している必要があります。無線 LAN ルーターの説明書をごらんください。

- ※ プッシュボタンの名称は、ルーターのメーカーにより異なります。
- ※ ミシンの電源を入れ、スタート/ストップボタンを押して、ミシンの初期化をします。ミシンの初期化をしていないと、設定できません。(7ページ参照)

① 無線 LAN ボタンとジョグボタンの右 (▶) を 3 秒以上押します。
無線 LAN ランプが早く点滅します。

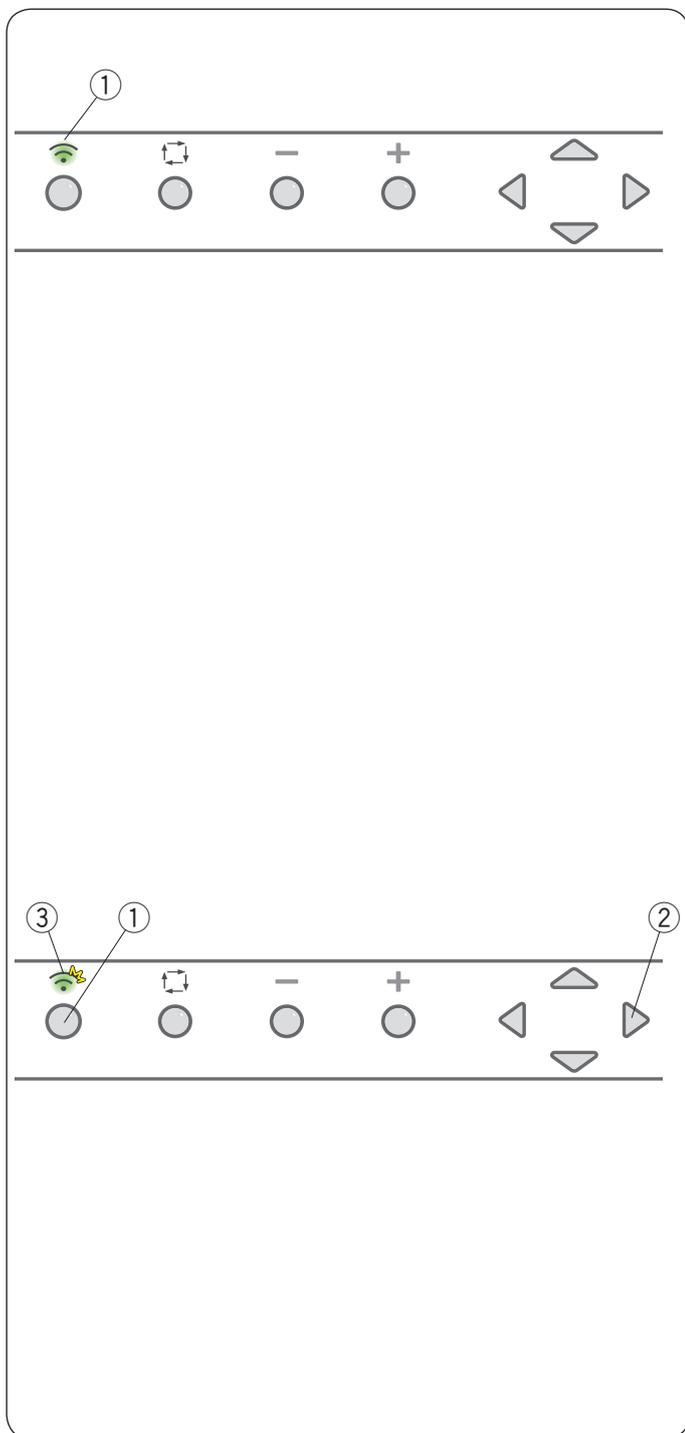
- ① 無線 LAN ボタン
- ② ジョグボタンの右
- ③ 無線 LAN ランプ

② 無線 LAN ルーターのプッシュボタンを押します。
無線 LAN ルーターとミシンが接続されます。

③ クライアントモードの設定が完了すると、無線 LAN ランプは点灯します。

- ③ 無線 LAN ランプ

※ 無線 LAN ランプが点灯しない場合、クライアントモードの設定が失敗しています。
手順 ① からやり直してください。



アプリケーションから接続方法を手動で変更する

はじめに、スマートデバイスをアクセスポイントモードでミシンに無線 LAN 接続します。(22 ページ参照)

- ① アプリケーションでぬい確認画面を表示させます。(26 ページ参照)
右上の「ミシンの設定」アイコンをタップします。
① 「ミシンの設定」アイコン

- ② 「ミシンの設定」画面でクライアントモードをタップし、クライアントモードに切りかえます。
無線 LAN ルーターの SSID とパスワードを入力し、「OK」をタップします。
無線 LAN ルーターとミシンが無線 LAN 接続されます。

※ 無線 LAN ルーターの SSID とパスワードについては、無線 LAN ルーターの説明書をごらんください。

- ③ クライアントモードに切りかわると、無線 LAN ランプが点灯します。
② 無線 LAN ランプ

※ クライアントモードへの切りかえが失敗した場合、無線 LAN ランプが早く点滅します。その後、無線 LAN ランプがゆっくり点滅にかわり、アクセスポイントモードに切りかわりますので、手順 ① からやり直してください。

無線 LAN ランプが早く点滅したままの場合や消灯した場合、クライアントモードからアクセスポイントモードに切りかえて(下記項目参照)、手順 ① からやり直してください。

クライアントモードからアクセスポイントモードへの切りかえ

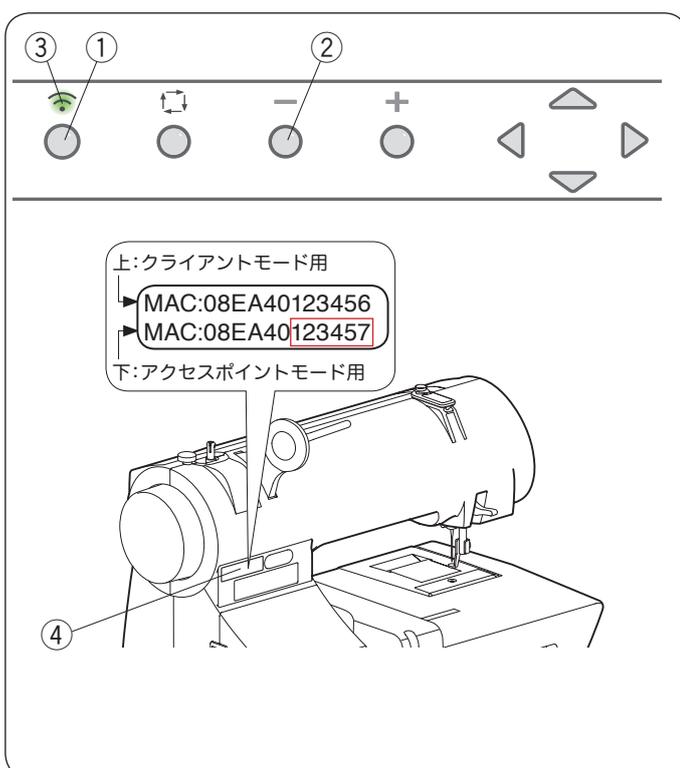
無線 LAN ボタンと針もどしボタンを 3 秒以上長押しすると、無線 LAN ランプが早く点滅します。モードが切りかわると、無線 LAN ランプはゆっくり点滅にかわります。

モードが切りかわったら、スマートデバイスのホーム画面の「設定」で Wi-Fi を ON にします。接続するミシン名 (MAC アドレス / 例 JANOME-12-34-57) をタップし、再度パスワード「12345678」を入力します。(22 ページ参照)

- ① 無線 LAN ボタン
- ② 針もどしボタン
- ③ 無線 LAN ランプ

注記 無線 LAN を接続するための MAC アドレスは、ミシン本体の背面のシールに表示されています。
④ MAC アドレス

※ 無線 LAN 接続の設定は、ミシンの電源を入れ直しても変わりません。



ミシンとスマートデバイスを接続し、刺しゅう模様を送信する

① 電源スイッチを「ON」(入)にし、ミシンの初期化をします。ミシンの初期化をしていないと、刺しゅう模様を送信できません。(7ページ参照)

① 電源スイッチ

② インストールしたアプリケーション『dot Customizer』を起動します。

※ アイコンの表示は「Customizer」です。

② 『dot Customizer』

③ お好きな刺しゅう模様を選び、編集をします。画面右下にある接続アイコンをタップし、ミシンと接続します。

③ 接続アイコン (接続前)

④ 接続アイコン (接続後)

※ 画面右上にある「ヘルプ」アイコンをタップすると、アプリケーション内の各種アイコンのヒントが表示されます。

⑤ 「ヘルプ」アイコン

※ アプリケーションの内蔵刺しゅう模様を拡大・縮小する場合、倍率を80～120%の範囲にしてください。範囲をこえて拡大・縮小すると、刺しゅう模様がくずれる場合があります。

注意

刺しゅう模様を80%未満に縮小したり、模様を重ねて刺しゅうしたりすると、糸切れや針折れが発生するおそれがあり、けがの原因となります。アプリケーションに内蔵されていない刺しゅう模様を刺しゅうする際には必ず試しぬいを行ってください。

④ 「模様をミシンへ送信」アイコンをタップし、刺しゅう模様をミシンに送信します。

⑥ 「模様をミシンへ送信」アイコン

注記

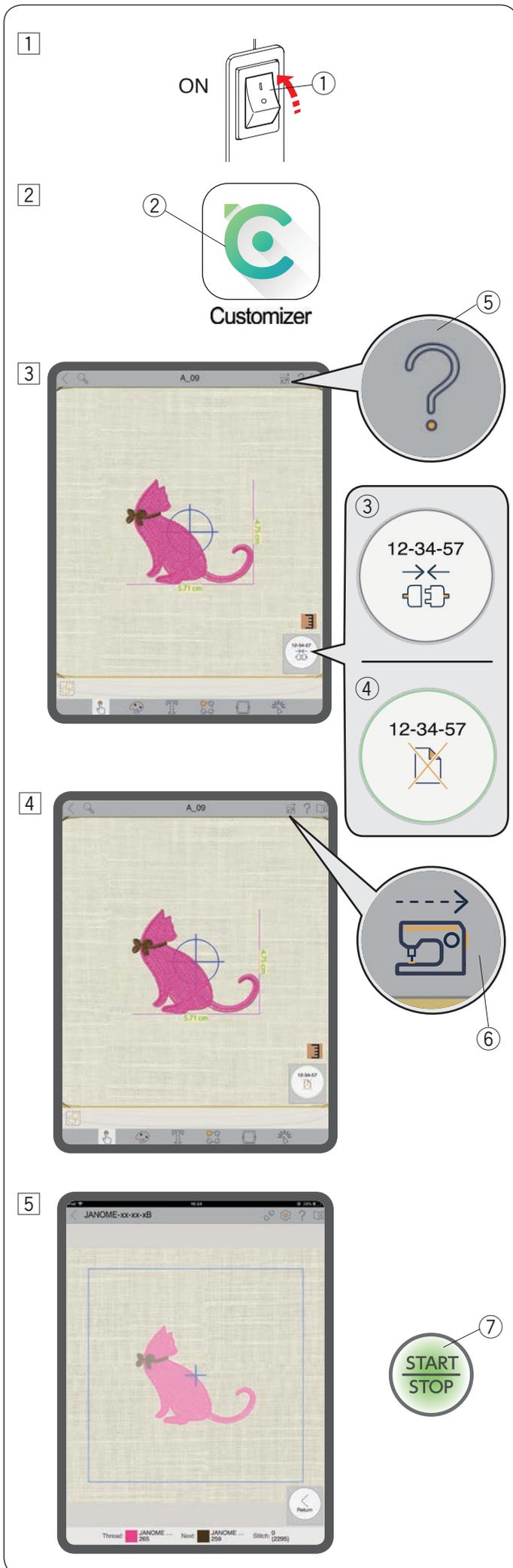
ミシンが以下の状態のときは、刺しゅう模様を送信できません。

- ミシンが初期化されていない (7ページ参照)
- 糸巻き軸が右側にある (7ページ参照)

⑤ 画面がぬい確認画面に切りかわります。

ミシンのスタート/ストップボタンが緑色に点灯します。

⑦ スタート/ストップボタン



刺しゅう模様のぬい方

基本的なぬい方

① 布の十字マークの中心と針の位置が合うように、ジョグボタンで刺しゅう枠の位置を調整します。

① ジョグボタン

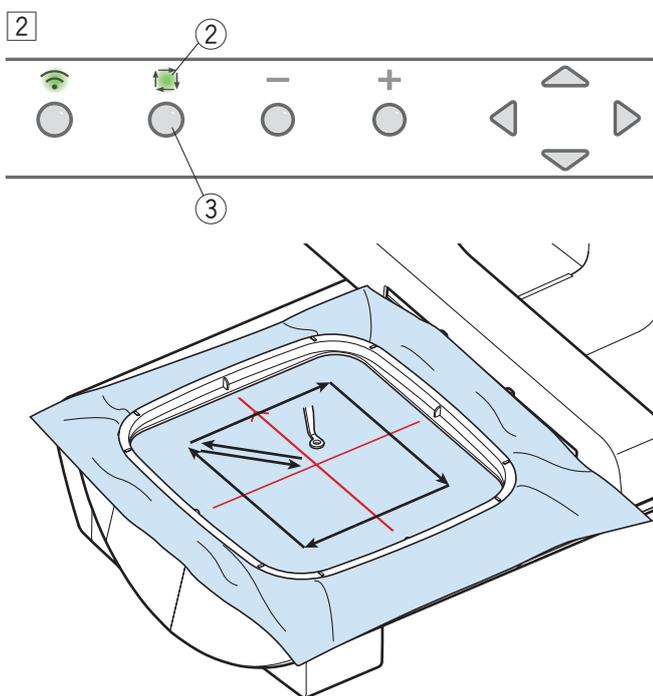
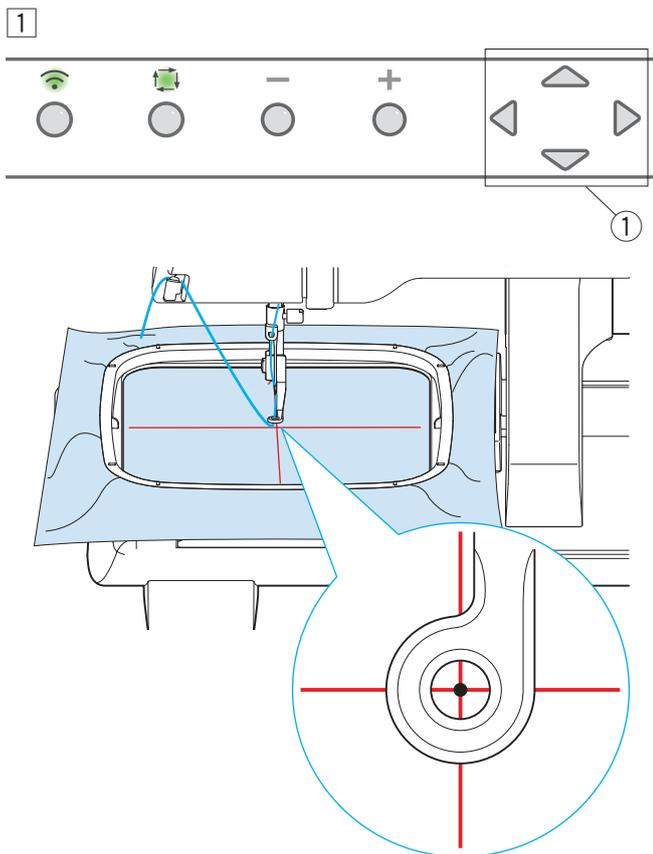
※ 以下の状態では、ジョグボタンは反応しません。

- 押さえ上げがさがっている
- 針がさがっている
- 糸巻き軸が右側にある



刺しゅう枠が動く範囲には、物を置かないでください。

故障やけが、刺しゅう模様がくずれる原因となります。



② めい範囲確認ランプが緑色に点灯しているときに、めい範囲確認ボタンを押すと、刺しゅう模様の高さを事前に確認できます。

② めい範囲確認ランプ

③ めい範囲確認ボタン

※ 以下の状態では、めい範囲確認ボタンは反応しません。

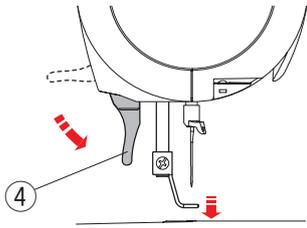
- 押さえ上げがさがっている
- 針がさがっている
- 糸巻き軸が右側にある



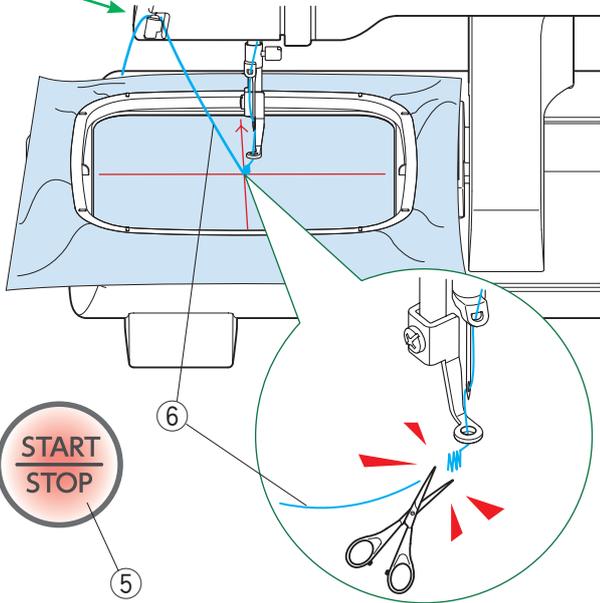
刺しゅう枠が動く範囲には、物を置かないでください。

故障やけが、刺しゅう模様がくずれる原因となります。

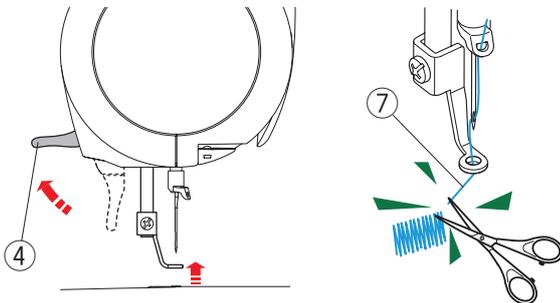
3



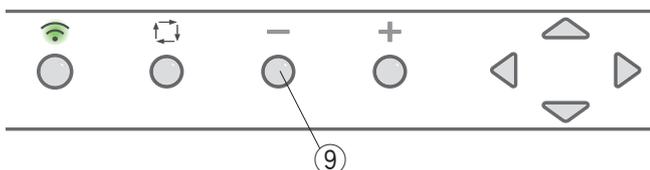
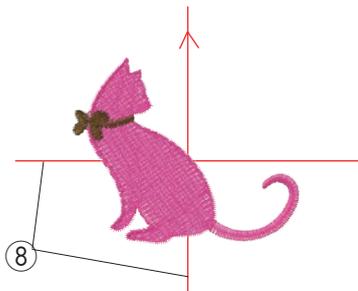
※ 必ず上糸を糸押さえにかける



4



5



- ③ 押さえ上げをさげます。
上糸を糸押さえにかけてスタート/ストップボタンを押します。5～6針ぬったところでスタート/ストップボタンを押してミシンを止めます。
ぬい始めの余分な糸を、ぬい目の近くで切ります。

- ④ 押さえ上げ
- ⑤ スタート/ストップボタン
- ⑥ 余分な糸

注意 使用中、天びん、はずみ車、針などの動いている部分には、手をふれないでください。
けがや破損・故障の原因となります。

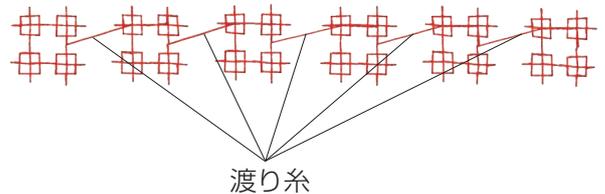
注意 ぬい始めは、必ず上糸を糸押さえにかけてから5～6針ぬってください。糸押さえにかけずにぬくと、上糸が布の裏側でからまってしまうことがあります。
糸がからまってミシンが動かなくなったときは、「糸がからまったときの対処方法」(38ページ)をごらんいただき、問題が解決しない場合は、無理にははずみ車を回したりせず、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ④ スタート/ストップボタンを押して、ぬい始めます。
色がえのときは、ミシンは自動で停止します。
押さえ上げをあげます。
ぬい終わった糸を切ります。

- ④ 押さえ上げ
- ⑦ ぬい終わった糸

※ 渡り糸がある模様は、渡り糸を切ります。
糸を次の色に交換して、糸押さえにかけてから再びぬい始めます。

例) 渡り糸がある模様



- ⑤ 刺しゅう模様が、布の十字マークに合わせてぬいあがります。

- ⑧ 十字マーク

※ 刺しゅうの途中で下糸が無くなったときは、一度ミシンを止め、刺しゅう枠をキャリッジからとりはずして(20ページ参照)、下糸を入れかえます。

(9～11ページ参照)

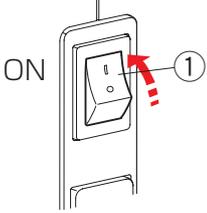
針もどしボタンを押し、下糸が無くなった位置より5～10針ほどもどし、刺しゅうを再開します。

(8ページ参照)

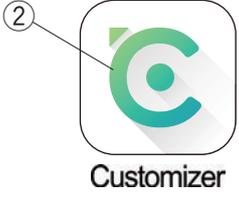
- ⑨ 針もどしボタン

前回の続きからのぬい方（リジューム機能）

刺しゅうの途中（ぬい停止中）でミシンの電源スイッチを切っても、次に電源スイッチを入れたとき、前回ぬっていた模様を表示画面になり、前回の続きからぬえます。

- 1 

① 電源スイッチを「ON」（入）にし、ミシンの初期化をします。（7ページ参照）

① 電源スイッチ
- 2 

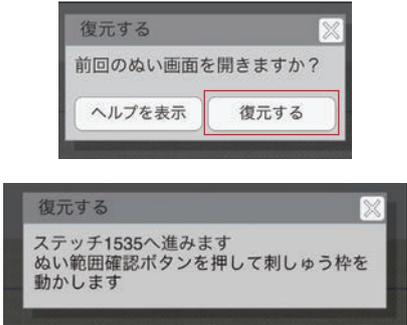
② スマートデバイスとミシンを無線 LAN 接続します。（21～25ページ参照）
アプリケーション『dot Customizer』を起動します。
※ アイコンの表示は「Customizer」です。

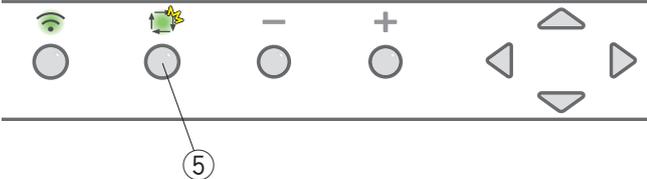
② 『dot Customizer』
- 3 

③ 接続アイコンをタップし、ミシンと接続します。

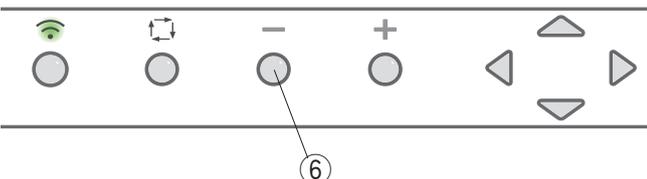
③ 接続アイコン
- 4 

④ 「？」アイコンをタップします。

④ 「？」アイコン
- 5 

⑤ 『復元する』をタップします。
- 6 

⑥ ミシンのぬい範囲確認ボタンを押すとぬい停止した位置に刺繍枠が動きます。

⑤ ぬい範囲確認ボタン
- 7 

⑦ 針もどしボタンを押し、途中で停止したぬい目から5～10針ほどもどし、刺しゅうを再開します。（8ページ参照）

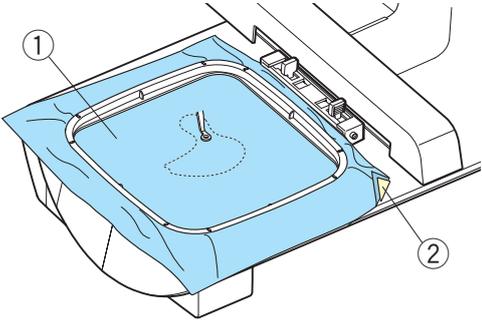
⑥ 針もどしボタン

アップリケ模様のぬい方

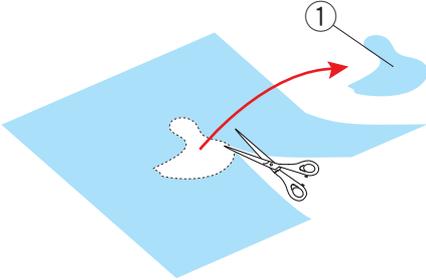
アップリケ用の布と台布、芯地、布の仮止め用のりを用意します。

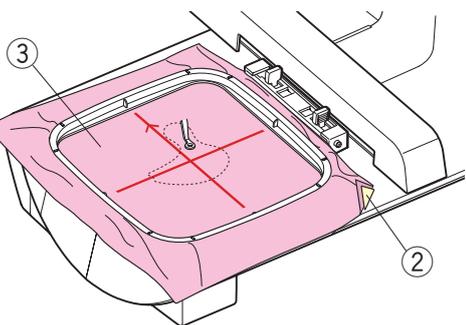
【例】アヒルのアップリケ

- ミシンにアップリケ> AP_01 の刺しゅう模様を送信します。(26 ページ参照)
- ミシンに上糸と下糸をセットし、下糸を引き出します。(「ボビンのセット」11 ページ参照)
(「上糸の準備」12 ~ 14 ページ参照)

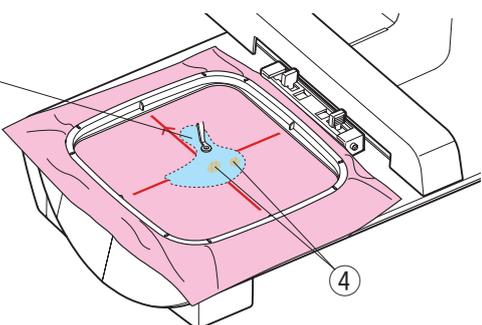
- 

① 芯地を貼ったアップリケ用の布を刺しゅう枠に張ります。
刺しゅう枠をキャリッジに取り付け、1 色目を刺しゅうします。

① アップリケ用の布
② 芯地
- 

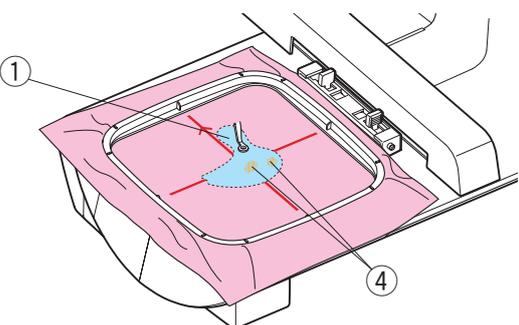
② 1 色目の刺しゅうが終わったら、刺しゅう枠をキャリッジから取り外します。
- 

③ 刺しゅう枠からアップリケ用の布を外し、ぬい目の線の上を切ります。

① アップリケ用の布
- 

④ 芯地を貼った台布を刺しゅう枠に張ります。
刺しゅう枠をキャリッジに取り付け、2 色目を刺しゅうします。

② 芯地
③ 台布

※ 2 色目で色がえ表示になっていますが、1 色目と同じ糸色を使用できます。
- 

⑤ 手順③で切り取ったアップリケ用の布を、2 色目のぬい目に合わせて布の仮止め用のりで貼り付けます。
布の仮止め用のりは、薄く付けます。

① アップリケ用の布
④ 布の仮止め用のり
- 

⑥ ミシンをスタートして、3 色目から刺しゅうします。
- 

⑦ 完成イメージ



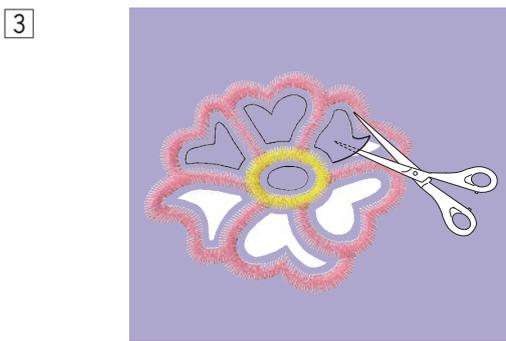
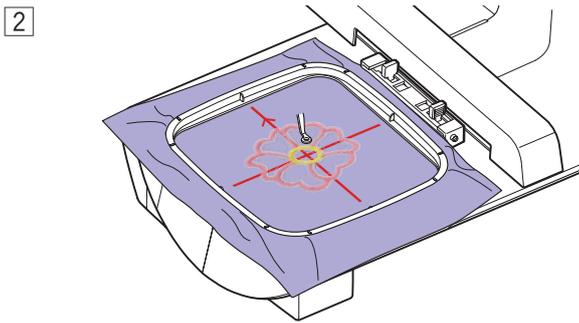
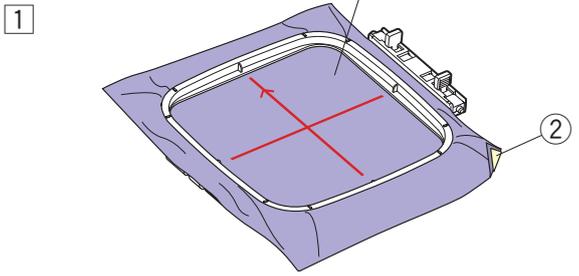
布の仮止め用のりは、ぬい目と重ならない所に薄く付けてください。
のりが針やかまに付着すると、ぬい不具合、破損・故障の原因となります。

カットワーク模様のぬい方

布と芯地を用意します。

【例】お花のカットワーク

- ミシンにカットワーク> CU_01 の刺しゅう模様を送信します。(26 ページ参照)
- ミシンに上糸と下糸をセットし、下糸を引き出します。(「ボビンのセット」11 ページ参照)
(「上糸の準備」12～14 ページ参照)



1 芯地を貼った布を、刺しゅう枠に張ります。

- ① 布
- ② 芯地

2 刺しゅう枠をキャリッジに取り付け、刺しゅうします。

3 刺しゅう枠をキャリッジから取り外します。
刺しゅう枠から布を外し、模様の内側にある、色の濃いぬい目の線の上を切ります。

※ 布を折り曲げると切りやすくなります。

4 完成イメージ

ぬいぐるみの作り方

ぬいぐるみの刺しゅう模様を使い、ぬいぐるみを作成できます。

※ 詳しくは、オンラインヘルプの『レシピ集』をごらんください。

【例】くまのぬいぐるみ

- ミシンにぬいぐるみの刺しゅう模様を送信します。(26 ページ参照)
- ミシンに上糸と下糸をセットし、下糸を引き出します。(「ボビンのセット」11 ページ参照)
(「上糸の準備」12 ~ 14 ページ参照)

- ① 各パーツを作ります。
布の表どうしを内側に合わせ、芯地に重ねて刺しゅう枠に張ります。
- ① 布の裏側
 - ② 布の表側
 - ③ 芯地
- ② 布を張った刺しゅう枠をキャリッジに取り付け、刺しゅうします。

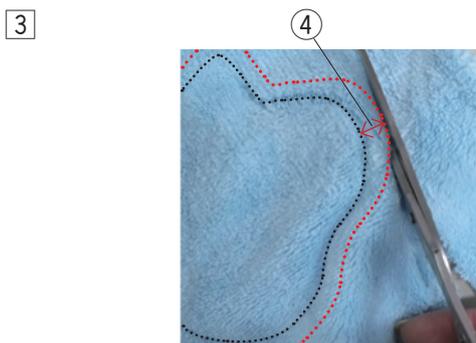
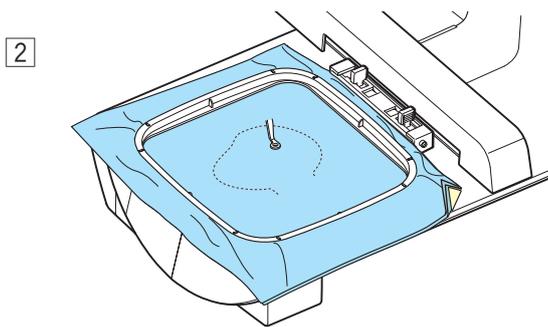
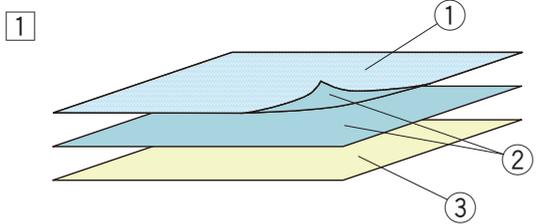
- ③ 刺しゅう枠から布を外します。
芯地をていねいにはがし、ぬいしろを 5 ~ 7 mm 残して周りの余分な布を切り落とします。
- ④ 5 ~ 7 mm

- ④ 返し口から表に返し、綿をつめます。
返し口を、ぬい糸で軽くぬいとじます。
- ⑤ 返し口
 - ⑥ ぬいとじ

- ⑤ 各パーツをぬい合わせます。
目玉ボタンを付けて、鼻と口を手ぬいします。

お願い ぬいぐるみの目玉ボタンなどのパーツは、手芸店でご購入ください。

- ⑥ 完成イメージ



ミシンのお手入れ

針の取りかえ方

⚠ 注意 針の交換は、必ずミシンの電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
けがの原因となります。

① ミシンの電源スイッチを「OFF」(切)にし、電源プラグをコンセントから抜きます。
押さえ上げをさげます。
はずみ車の印が上にくるように手前に回し、針を高い位置にあげます。

- ① 電源スイッチ
- ② 電源プラグ
- ③ コンセント
- ④ 押さえ上げ
- ⑤ はずみ車の印

② 針止めねじを付属のドライバーで手前に1～2回まわしてゆるめ、針を外します。

- ⑥ 針止めねじ
- ⑦ ドライバー

③ 取り付けは、針の平らな面を向こう側に向けて止まるまで差し込み、針止めねじを付属のドライバーでしっかりとしめます。

- ⑦ ドライバー
- ⑧ 針の平らな面

※ 正しく針が取り付けられていないと、糸通しができないだけでなく、ねじがゆるみ針折れして危険です。

⚠ 注意 針止めねじがしっかりとしまっていない、または、針が正しく入っていないと、針折れや針曲がり、けがや破損・故障の原因となります。

針の調べ方

針の平らな面を平らな物(針板など)に置いたとき、すきまが針先まで均等に見えるのが正常な針です。

針先が曲がったり、つぶれているものは使わないでください。

- ⑨ すきま

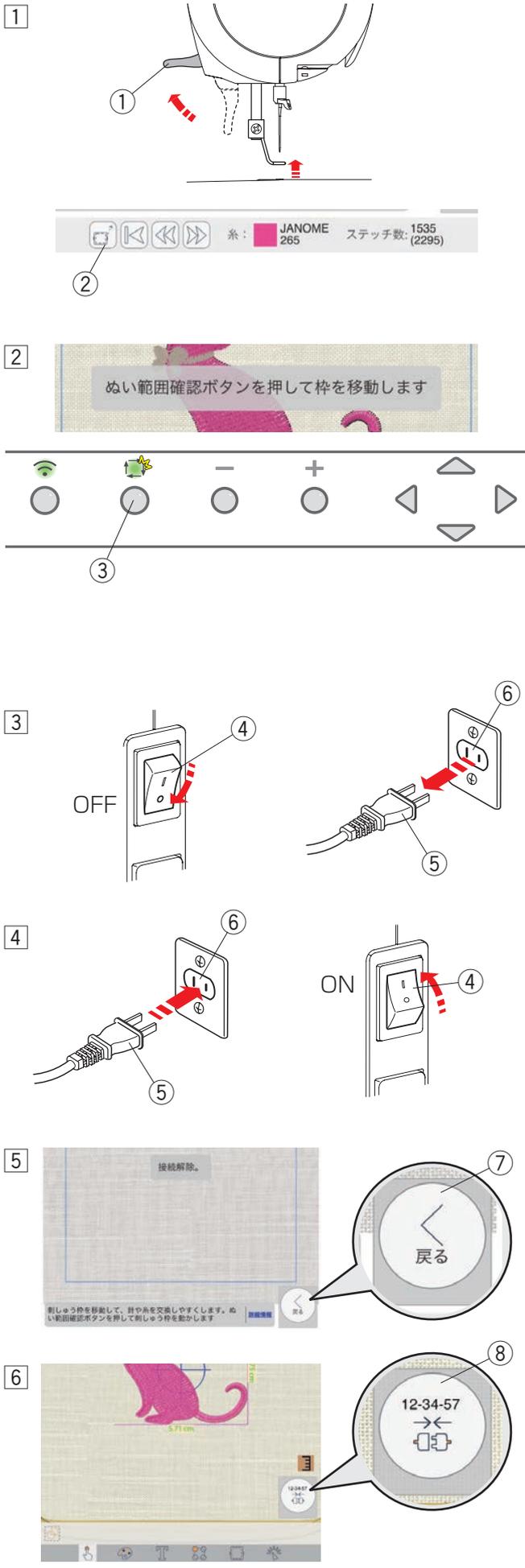
このミシンで使用できる針は75/11番です。
メーカー推奨：ジャノメのブルー針

⚠ 注意 オルガン針 HA×1 #11、HA×1SP #11が使用できます。
(ご購入はお買い上げの販売店へご相談ください。)
他の針を使用すると、針折れや糸切れなど、けが・故障の原因となります。

・オルガンはオルガン針株式会社の商標です。

針の取りかえ方（刺しゅうの途中）

刺しゅうの途中で針を交換する場合は、刺しゅう枠を右奥に移動させ、針を取りかえます。



① 押さえ上げをあげ、ぬい確認画面で、「刺しゅう枠を移動」アイコンをタップします。

- ① 押さえ上げ
- ② 「刺しゅう枠を移動」アイコン

② ミシンのぬい範囲確認ボタンを押して、刺しゅう枠を右奥に移動します。

- ③ ぬい範囲確認ボタン

注意 針の交換は、必ずミシンの電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
けがの原因となります。

③ ミシンの電源スイッチを「OFF」(切)にし、電源プラグをコンセントから抜きます。

針を取りかえます。(33 ページ参照)

- ④ 電源スイッチ
- ⑤ 電源プラグ
- ⑥ コンセント

④ 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「ON」(入)にし、ミシンを初期化します。(7 ページ参照)

- ④ 電源スイッチ
- ⑤ 電源プラグ
- ⑥ コンセント

⑤ スマートデバイスとミシンを無線 LAN 接続します。(21 ~ 25 ページ参照)

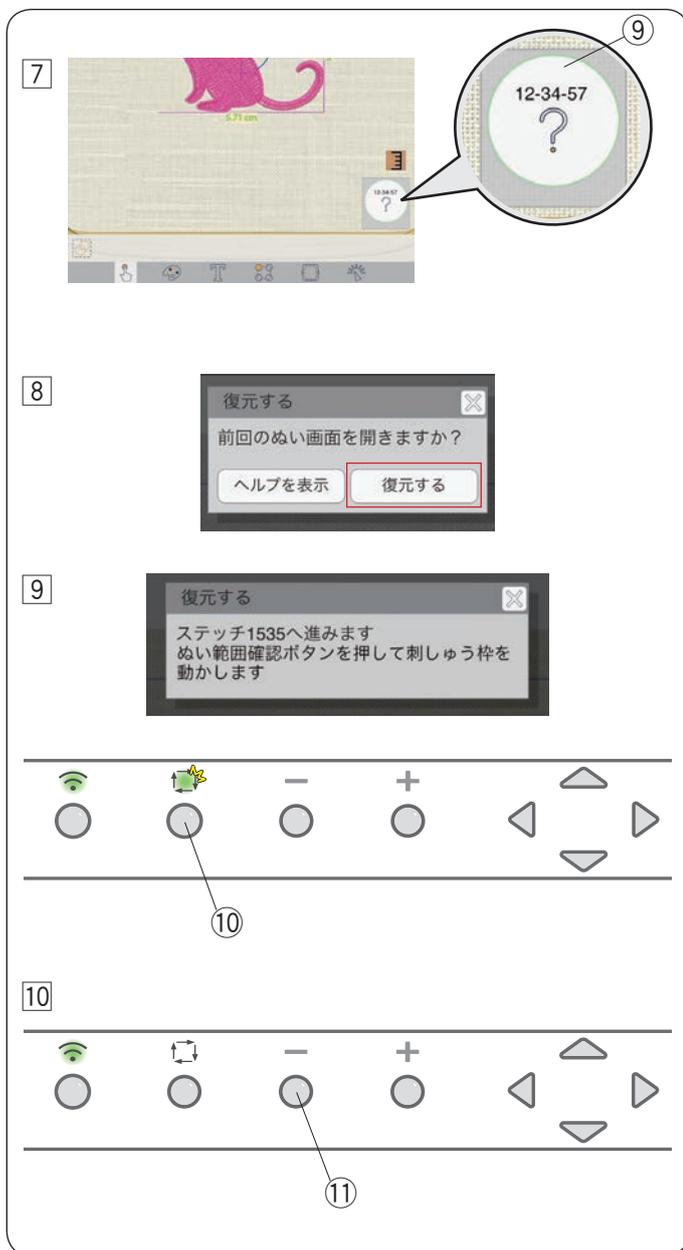
アプリケーションの「戻る」アイコンをタップします。

- ⑦ 「戻る」アイコン

※ 無線 LAN 接続が失敗した場合、画面右下に『ミシンを探しています...』と表示されます。再度スマートデバイスとミシンを無線 LAN 接続します。

⑥ 接続アイコンをタップし、アプリケーションとミシンを接続します。

- ⑧ 接続アイコン



⑦ 「？」アイコンをタップします。

⑨ 「？」アイコン

⑧ 『復元する』をタップします。

⑨ ミシンのぬい範囲確認ボタンを押し、元の刺しゅう枠の位置にもどします。

⑩ ぬい範囲確認ボタン

⑩ 針もどしボタンを押し、途中で停止したぬい目から5～10針ほどもどし、刺しゅうを再開します。(8ページ参照)

⑪ 針もどしボタン

布に適した針や糸を選ぶ目安

布の種類	上糸	下糸	針
薄い布	ミシン刺しゅう糸 ※ 以下の糸をおすすめします。	フジックスシャップスパン #90 のミシン糸 (白)	75/11 番 または ジャンメブルー針
普通の布 ニット地	<ul style="list-style-type: none"> • JANOME ポリエステル • フジックスキングスター ポリエステル • Gutermann SULKY レーヨン • Isacord ポリエステル • MADEIRA レーヨン • Mettler ポリシーン • Robison-Anton ポリエステル • Robison-Anton レーヨン • Wonderfil Splendor レーヨン 		

※ 下糸に、刺しゅう専用の下糸を使用しないでください。

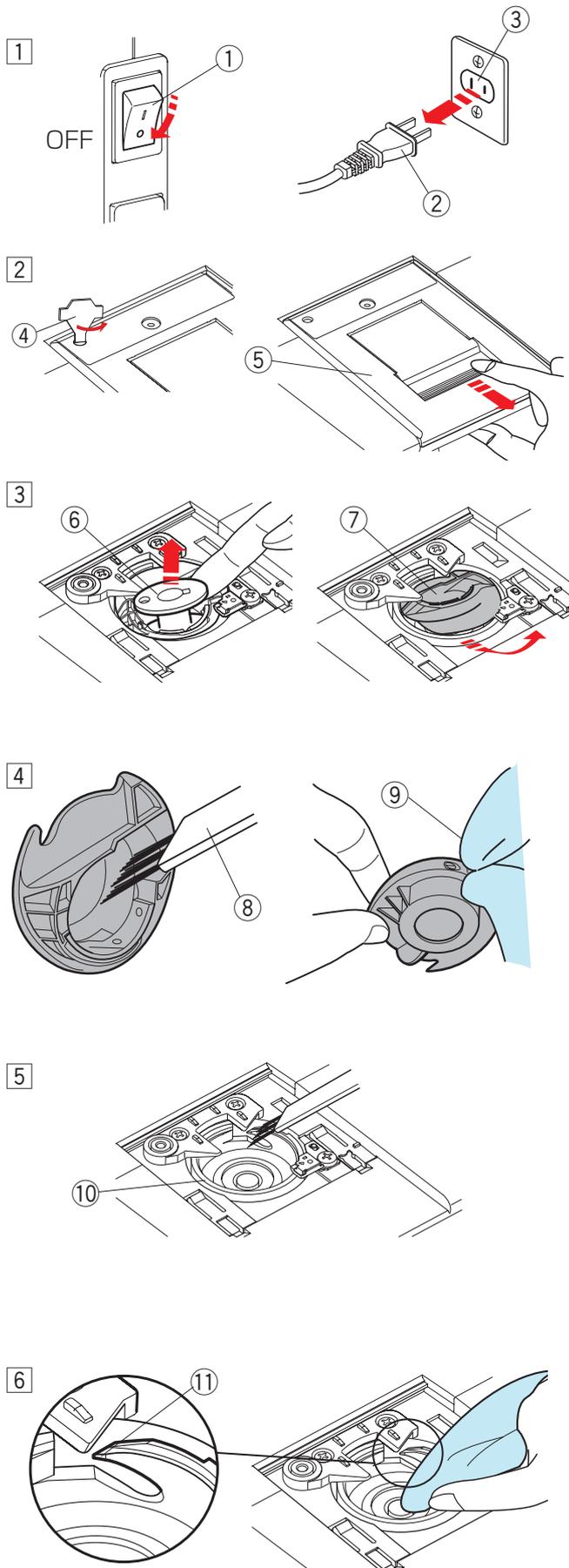
※ 針は、オルガン針の HA × 1 # 11、HA × 1SP # 11 も使用できます。

かま付近の掃除

内がまと外がまは定期的に掃除をしてください。



かま付近の掃除は、必ずミシンの電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。けがの原因となります。この項目で説明している箇所以外は分解しないでください。



- ① ミシンの電源スイッチを「OFF」(切)にし、電源プラグをコンセントから抜きます。針を取り外します。(33 ページ参照)

- ① 電源スイッチ
- ② 電源プラグ
- ③ コンセント

- ② 付属のドライバーで針板のねじを外します。針板を手前にスライドして針板を外します。

- ④ ドライバー
- ⑤ 針板

- ③ ボビンを取り出します。内がまの手前を上へ引きながら、内がまを取り出します。

- ⑥ ボビン
- ⑦ 内がま

- ④ 内がまを付属のミシンブラシで掃除し、やわらかい布で全体を軽くふきます。

- ⑧ ミシンブラシ
- ⑨ やわらかい布

- ⑤ 外がまをミシンブラシで掃除します。

- ⑩ 外がま

- ⑥ やわらかい布で、外がまのまわりや内部全体を軽くふきます。

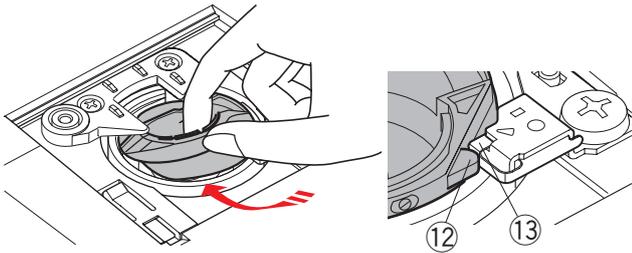


外がまの剣先がとががっているため、ふくときには注意してください。

けが・故障の原因となります。

- ⑪ 剣先

7



⑦ 内がまの突起に回転止めのストッパーを当て、内がまを取り付けます。

はずみ車を手前に一回転させ、内がまがしっかりと取り付けられたことを確認します。

- ⑫ 突起
- ⑬ 回転止めのストッパー

針板と針を取り付けます。



注意

内がまが正しく取り付けられていないと、故障の原因となります。

針板のねじをしっかりと締めてください。締め付けがゆるいと、故障の原因となります。



注記

ミシンへの注油は出荷時に十分行っています。ご自身での注油は行わないでください。

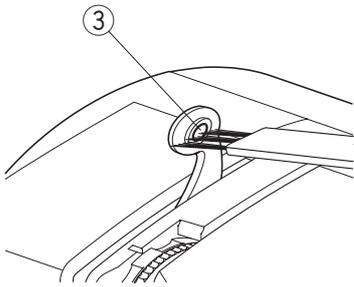
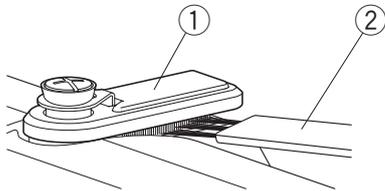
故障の原因となります。

糸道の掃除

糸道に付着した糸くずや汚れなどを付属のミシンブラシで掃除します。

上糸糸案内の下側をミシンブラシで掃除します。

- ① 上糸糸案内
- ② ミシンブラシ



天びんの穴をミシンブラシで掃除します。

ミシンブラシで汚れが落ちない場合はミシンブラシの柄の部分でこすり落としてください。

- ③ 天びんの穴

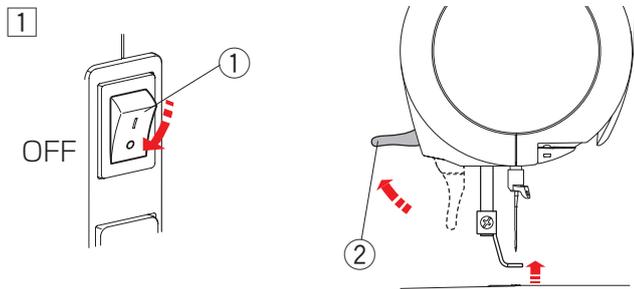


注意

傷防止のため、金属製のブラシは使用しないでください。天びんの穴に傷が付くと上糸切れの原因となります。

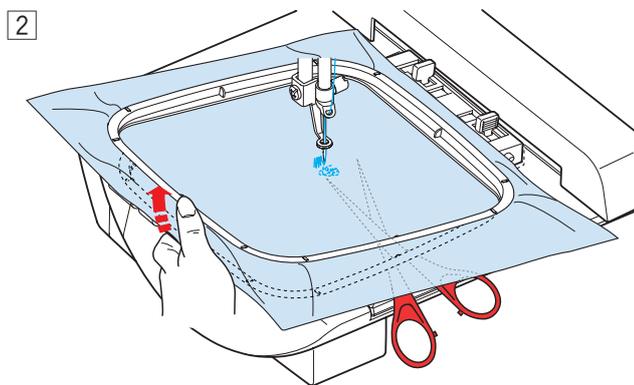
ミシンの調子が悪いときの直し方 糸がからまったときの対処方法

注意 糸がからまってミシンが動かなくなったときは、無理にはずみ車を回さないでください。ミシンに大きな負荷がかかり、ミシンが破損するおそれがあります。



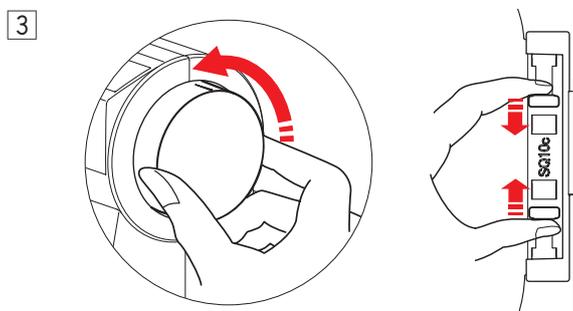
① ミシンの電源スイッチを「OFF」(切)にします。押さえ上げをあげます。

- ① 電源スイッチ
- ② 押さえ上げ



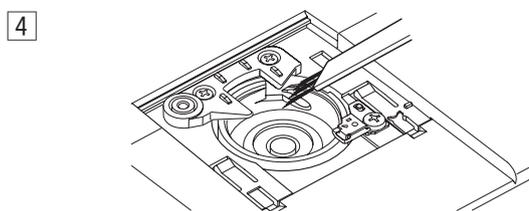
② 刺しゅう枠の端を軽く持ちあげて、刺しゅう枠とミシン本体のあいだにすきまをつくります。開いたすきまにはさみなどを入れ、布の裏側でからまった糸を切ります。

注意 からまった糸を切るとき無理にはさみを入れると、針板などに傷が付き、故障の原因となります。



③ はずみ車を手前に回して針をあげ、刺しゅう枠をキャリッジから取り外します。

注意 はずみ車がスムーズに回らない場合、無理にはずみ車を回したりせず、お買い上げの販売店にご相談ください。



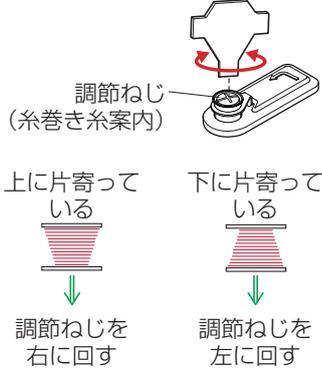
④ 針板を外して、外がまの糸ゴミを取り除きます。(36～37ページ参照)

トラブルシューティング

オンラインヘルプの『Q&A』も合わせてごらんください。

	状態	原因	直し方	参照ページ
1	ミシンが動かない	<ol style="list-style-type: none"> 電源コードのプラグがミシンおよびコンセントにしっかりとささっていない。 刺しゅう模様が送信されていない。 天びんに糸がからまっている。 かまに糸がからまっている。 	<p>電源コードのプラグをしっかりと差し込む。</p> <p>刺しゅう模様を送信する。</p> <p>からまった糸を取り除く。</p> <p>からまった糸を取り除き、かまを掃除する。</p>	<p>6 ページ</p> <p>26 ページ</p> <p>-</p> <p>36 ~ 38 ページ</p>
2	ミシンから異音がある	<ol style="list-style-type: none"> 内がまに糸くずがからまっている。 布が巻き込まれている。 電源投入時、制御モーターからわずかな共鳴音がある。 	<p>からまった糸を取り除く。</p> <p>巻き込まれた布を取り除く。</p> <p>異常ではありません。</p>	<p>38 ページ</p> <p>-</p> <p>-</p>
3	ミシンの初期化を行ったときに異音がある	<ol style="list-style-type: none"> キャリッジとミシン本体のすきまに、何かはさまっている。 	<p>はさまっているものを取り除く。</p>	-
4	操作ボタンが反応しない	<ol style="list-style-type: none"> ミシンの条件や、状態が異なる。 糸巻き軸が糸巻きの位置（右側）にある。（スタート/ストップボタンのみ反応します。） 電子回路が正しく動作していない。 	<p>操作ボタンのランプ点灯状態を確認し、適切な操作を行う。</p> <p>糸巻き軸を左側に移動させる。</p> <p>お買い上げの販売店に相談する。</p>	<p>42 ページ</p> <p>7 ページ</p> <p>43 ページ</p>
5	はずみ車が回らない	<ol style="list-style-type: none"> 押さえ上げがさらにあげた位置になっている。 かまに糸がからまっている。 布が厚すぎる、硬すぎる。 	<p>押さえ上げをさげる。</p> <p>からまった糸を取り除く。</p> <p>布をかえる。</p>	<p>6 ページ</p> <p>38 ページ</p> <p>-</p>
6	クライアントモード接続時に、無線 LAN ランプが消灯する	<ol style="list-style-type: none"> 無線 LAN ルーターの電源が入っていない。 クライアントモードへの切りかえが失敗している。 	<p>無線 LAN ルーターの電源を入れる。</p> <p>クライアントモードの設定をやり直す。</p>	<p>-</p> <p>24 ページ</p>
7	スマートデバイスとミシンが接続・通信されない	<ol style="list-style-type: none"> 通信モードが合っていない。（通信モードが切りかわっている） 	<p>通信モード（アクセスポイントモードかクライアントモード）を確認する。異なる場合は、通信モードを切りかえる。</p>	21 ~ 25 ページ
8	刺しゅう模様が送信できない	<ol style="list-style-type: none"> ミシンが初期化されていない。 糸巻き軸が糸巻きの位置（右側）にある。 	<p>ミシンを初期化する。</p> <p>糸巻き軸を左側に移動させる。</p>	<p>7 ページ</p> <p>7 ページ</p>
9	針が布に刺さるとときに大きな音がする	<ol style="list-style-type: none"> 布が厚すぎる、硬すぎる。 刺しゅう模様の大きさを 80%未満に縮小している。 模様を重ねてぬっている。 	<p>布をかえる。</p> <p>模様を縮小する場合、倍率を 80% 未満にしない。</p> <p>模様を重ねる場合、必ず試しぬいをしてぬえるかを確認する。</p>	<p>16 ページ</p> <p>-</p> <p>16 ページ</p>

トラブルシューティング

状態	原因	直し方	参照ページ
10 ボビンにきれいに下糸が巻けない	<ol style="list-style-type: none"> 糸のかけ方がまちがっている。 ボビンの上または、下に巻きが片寄っている。 	<p>下糸を正しくかけ直す。 調節ねじを回す。 注意：調節ねじは回しすぎないでください。部品が外れる場合があります。</p>  <p>調節ねじ (糸巻き糸案内)</p> <p>上に片寄っている 調節ねじを右に回す</p> <p>下に片寄っている 調節ねじを左に回す</p>	10 ページ -
11 上糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> 糸こまに上糸が引っかかっている。 上糸のかけ方がまちがっている。 上糸調子が強すぎる。 糸がかまなどにからまっている。 針が曲がっているか、針先がつぶれている。 針が正しく取り付けられていない。 ぬい始めのときに上糸を糸押さえにかけていない。 指定外の針や糸を使っている。 	<p>糸こま押さえをしっかりと付ける。</p> <p>上糸を正しくかけ直す。 糸調子ダイヤルを調整する。 かまを掃除する。 針を交換する。 針を正しく取り付け。 上糸を糸押さえにかけてぬい始める。 指定の針や糸に交換する。</p>	9 ページ 12 ~ 13 ページ 15 ページ 36 ~ 37 ページ 33 ページ 33 ページ 28 ページ 35 ページ
12 下糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> 下糸 (ボビン) のセット方法がまちがっている。 内がまに糸くずがからまっている。 ボビンのつばに傷があり、なめらかに回っていない。 指定外の糸を使っている。 	<p>下糸 (ボビン) を内がまに正しくセットする。 かまを掃除する。 ボビンを交換する。 指定の糸に交換する。</p>	11 ページ 36 ~ 37 ページ - 35 ページ
13 針が折れる	<ol style="list-style-type: none"> 針の付け方がまちがっている。 針が曲がっているか、針先がつぶれている。 針止めねじが、しっかりしまっていない。 指定外の針を使っている。 	<p>新しい針を正しく入れ直す。 針を交換する。 針を交換し、針止めねじをしっかりと締め直す。 指定の針に交換する。</p>	33 ~ 35 ページ 33 ページ 33 ~ 35 ページ 35 ページ
14 針が交換しづらい	<ol style="list-style-type: none"> キャリッジを退避させていない。 	<p>「刺しゅう枠を移動」アイコンを使用して、キャリッジを移動させる。</p>	34 ページ
15 目とびする	<ol style="list-style-type: none"> 針の付け方がまちがっている。 針が曲がっているか、針先がつぶれている。 上糸のかけ方がまちがっている。 針の状態が悪い (さびているか、針穴や針の先端がなめらかでない)。 指定外の針や糸を使っている。 刺しゅう枠にがたつきがある。 刺しゅう中に何らかの理由で、布が引っ張られたり、ひっかかったりしている。 刺しゅう枠に布をピンと張っていない。 	<p>針を正しく入れ直す。 針を交換する。 上糸を正しくかけ直す。 針を交換する。 指定の針や糸に交換する。 刺しゅう枠を、しっかりと固定し直す。 布がひっかからないように張り直す。 布をしっかりと張る。</p>	33 ページ 33 ~ 35 ページ 12 ~ 13 ページ 33 ~ 35 ページ 35 ページ 19 ページ 18 ~ 19 ページ 18 ページ

	状態	原因	直し方	参照ページ
16	模様がきれいにぬえない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下糸（ボビン）のセット方法がまちがっている。 <ul style="list-style-type: none"> • ボビンを入れる方向が違う • 下糸が内がまの板ばね（黒い板）に入っていない。 2. 上糸調子が強すぎる。 3. 刺しゅう模様の拡大縮小倍率が80～120%の範囲をこえている。 4. 刺しゅう枠に布をピンと張っていない。 5. 刺しゅう枠の調節ねじがゆるんでいる。 6. キャリッジがミシンの周りの物に当たっている。 7. 刺しゅう中に何らかの理由で、布が引っ張られたり、ひっかかったりしている。 8. 布の重さでキャリッジの動きが悪くなっている。 9. 布が、ぬいちぢみしている。 	<p>下糸（ボビン）を内がまに正しくセットする。</p> <p>糸調子ダイヤルを調整する。 編集画面で拡大・縮小する場合、倍率を80～120%の範囲にする。</p> <p>布をしっかりと張る。</p> <p>調節ねじをしっかりとしめる。</p> <p>ミシンの周囲に障害になるものを置かない。</p> <p>布がひっかからないように張り直す。</p> <p>布が作業台から垂れないようにし、キャリッジを動きやすくする。</p> <p>芯地を使用する。</p>	<p>11 ページ</p> <p>15 ページ</p> <p>-</p> <p>18 ページ</p> <p>18 ページ</p> <p>-</p> <p>18～19 ページ</p> <p>-</p> <p>16 ページ</p>
17	糸調子が安定しない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸糸案内や天びんに、糸くずや汚れなどが付着している。 2. 指定外の糸を使っている。 	<p>糸くずや汚れなどを取り除く。</p> <p>指定の糸に交換する。</p>	<p>37 ページ</p> <p>35 ページ</p>
18	下糸が出てくる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸調子が強すぎる。 2. 下糸（ボビン）のセット方法がまちがっている。 3. ボビンを入れる方向が逆向きになっている。 	<p>糸調子ダイヤルを調整する。</p> <p>下糸（ボビン）を内がまに正しくセットする。</p> <p>ボビンを正しく入れ直す。</p>	<p>15 ページ</p> <p>11 ページ</p> <p>11 ページ</p>
19	(ぬい始め時) <ul style="list-style-type: none"> • 「糸切れ」が表示される • 上糸が布の裏側に過剰に引き出される • 上糸が布の表側でたるむ、輪になる • かまから異音がする 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 押さえ上げをさげた状態で糸かけを行っているため、上糸が正しくかけられていない。 	<p>押さえ上げをあげた状態で、上糸かけを行う。</p>	<p>12～13 ページ</p>
20	(ぬい始め時) <p>布の裏側で糸がからむ</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ぬい始めの糸が布の裏側に引き込まれている。 2. 上糸のかけ方がまちがっている。 	<p>ぬい始めは上糸を糸押さえにかけてからぬう。</p> <p>上糸を正しくかけ直す。</p>	<p>28 ページ</p> <p>12～13 ページ</p>

※ 静かな部屋でご使用の場合、「キーン」と高い音がすることがあります。これはミシン内部の制御モーターから発生しているもので、使用上問題はありません。

※ 長時間使用した場合、操作ボタン付近の温度が高くなる場合があります。これは内部の制御部品の発熱によるもので、使用上問題はありません。

操作ボタンのランプ点灯状態

通常時のランプの状態		ミシンの状態	操作
	点灯	刺しゅう開始待ち	スタート/ストップボタンを押します。
	ゆっくり点滅	一時停止中	スタート/ストップボタンを押します。
	早く点滅	色がえ待ち停止中	押さえ上げをあげ、糸を交換し、押さえ上げをさげてスタート/ストップボタンを押します。
	点灯	糸巻きモード	スタート/ストップボタンを押して下糸を巻きます。
	ゆっくり点滅	ミシンの初期化待ち	スタート/ストップボタンを押します。
		刺しゅう枠の移動が必要なため停止中	スタート/ストップボタンを押して、刺しゅう枠を正しい位置へ移動します。
	点灯	刺しゅう中	

エラー時のランプの状態		ミシンの状態	操作
	早く点滅	モーターエラーで停止中	電源を切り、天びんやかまにからまっている糸を取り除いたあと、電源を入れ直してください。直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
	早く点滅	通信エラーで停止中	電源を入れ直してください。直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
	ゆっくり点滅	押さえ上げの位置が正しくないため停止中	押さえ上げを正しい位置にしてください。
		針が一番高い位置にないため停止中	はずみ車の印が上にくるように、手前側に回します。
		糸巻き軸が右側にあり初期化できない	糸巻き軸を左側にもどし、初期化します。
	早く点滅	上糸切れで停止中	押さえ上げをあげて上糸をかけ直し、押さえ上げをさげてぬい直します。
		モーターに高い負荷がかかって停止中	電源を切り、布の厚さや刺しゅう模様同士の重なり、針が曲がっていないかなどを確認したあと、電源を入れ直してください。

仕 様	
使 用 電 圧	100 V 50/60 Hz
消 費 電 力	20 W
外 形 寸 法	幅 415 mm × 奥行 259 mm × 高さ 250 mm
質 量	4.1 kg (本体)
使 用 針	家庭用 HA X 1 75/11 番 (ブルー針)
最高ぬい速度	毎分 400 針

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 無料修理保証期間内、およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

修理用部品の保有期間

- 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後 8 年間を基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 取扱説明書にしたがって、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過したあとも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。ただし、次のような場合は修理できないときがあります。
 - 1) 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 - 2) 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 - 3) お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
 - 4) お買い上げ店または当社の指定した販売店以外で修理、分解、改造をしたために不調、故障または損傷したとき。
 - 5) 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げの販売店が別に定める技術料の合計になります。

お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は下記にお申しつけください。
お問い合わせの際には、ミシン本体の正面、もしくは保証書にある商品名を控えてください。

蛇の目ミシン工業株式会社

住 所 〒 193-0941 東京都八王子市狭間町 1463 番地
電 話 お客様相談室 0120 - 026 - 557 (フリーダイヤル)
042 - 661 - 2600

受 付 平日 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

メールでのお問い合わせは、ホームページ <https://www.janome.co.jp>
問合せフォームをご利用ください。

